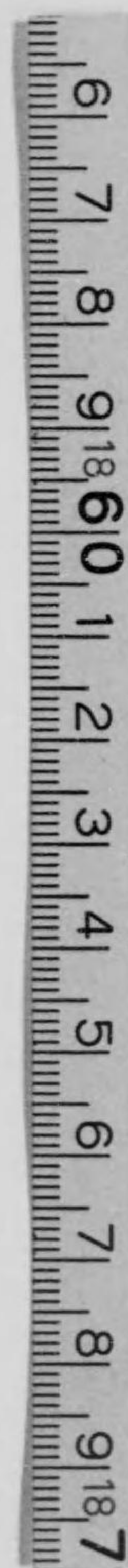


染

研

貳
輯



423-136

序

此間或商店の染帯と其圖案の對照陳列を見た刹那
自分は圖案家よりも實業家の方が熟があると思
感した。それは圖案家よりも染帯の方が配色及構圖が
巧妙で、是以上修正のしやうはなからうと思はる
、迄徹底的にやつてあつて、圖案は唯意匠にヒン
トを與へるにすぎなかつた。圖案家は圖案を實地
に應用して果して如何といふ迄に考慮を拂はぬを
認めたからである。然るに獨り染研會のは前號の
序にも云つた通り圖案家は又染色の實技家として
の任務を兼ね有して居るから、作品の凡てに分業
製品よりも更に熟が高いのは勿論である。だから
夫は直ちに即今の流行を雄辯に語るものとして信
せられる。春季の分は曩に圖録として公にされ今
や夏、秋、冬向のものが發行されて、大正十二年
殊に東宮御慶典の芽出度き年の流行の現實を表は
し更に將來の傾向を暗示するものとして斯界に親
切忠實なる指針たるを失はぬのである。此圖録の
特色は乃ち茲に存する。

大正癸亥仲夏

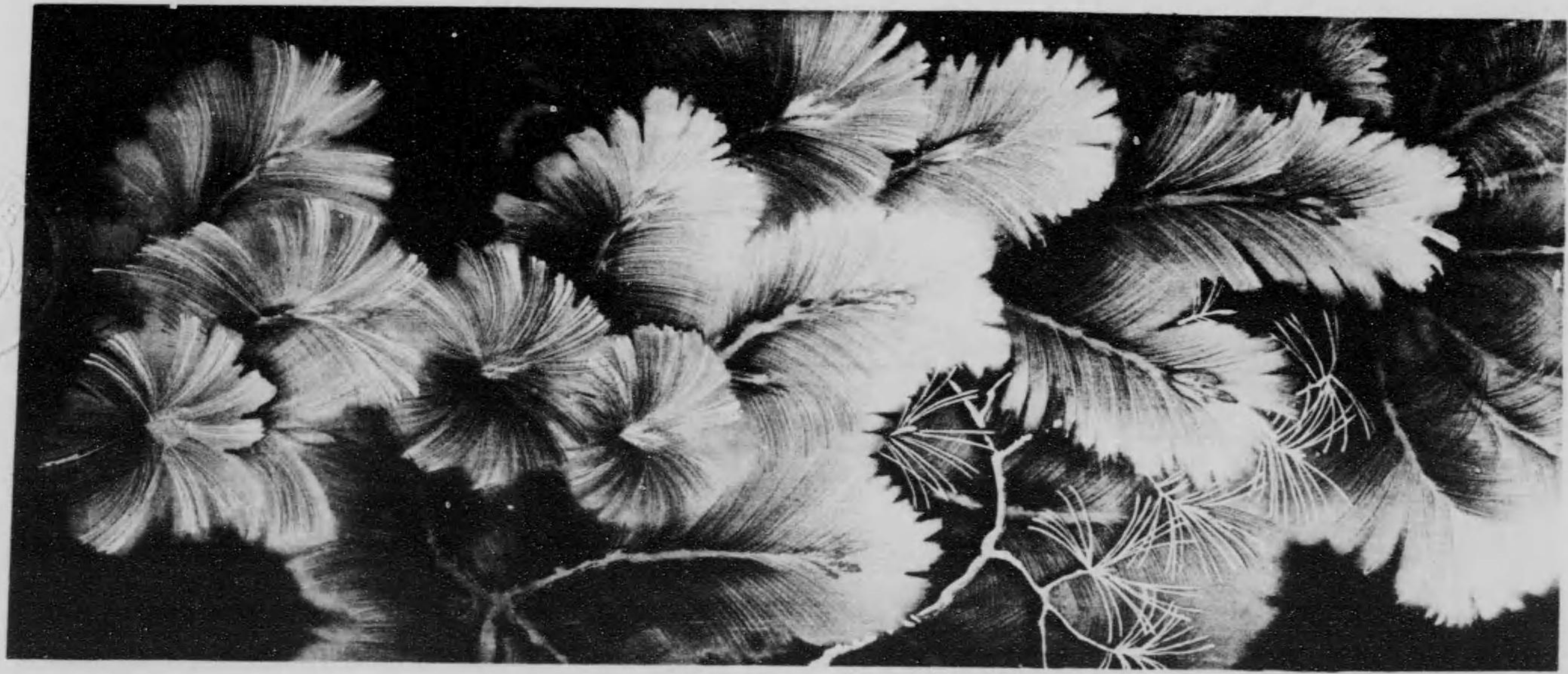
村上 文 芽

大正
12. 8. 14
内文

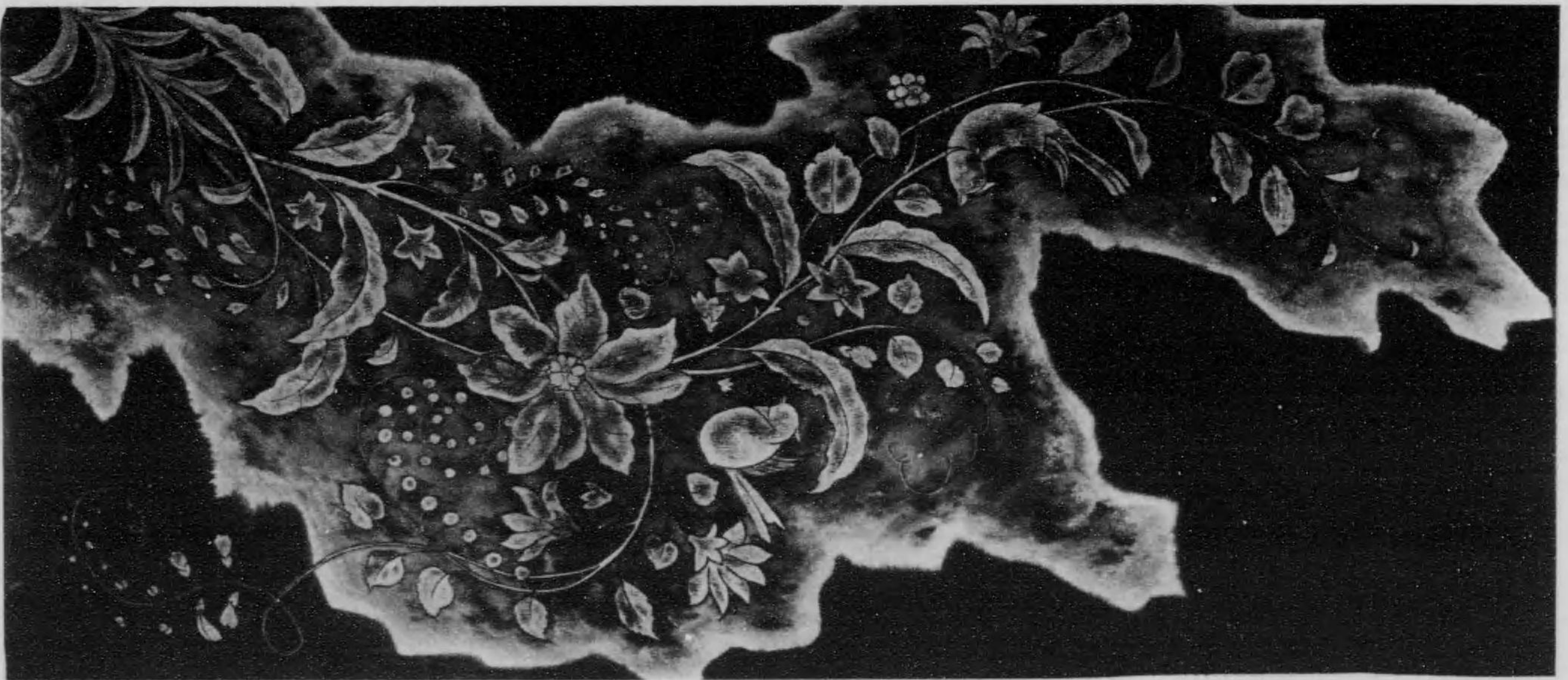


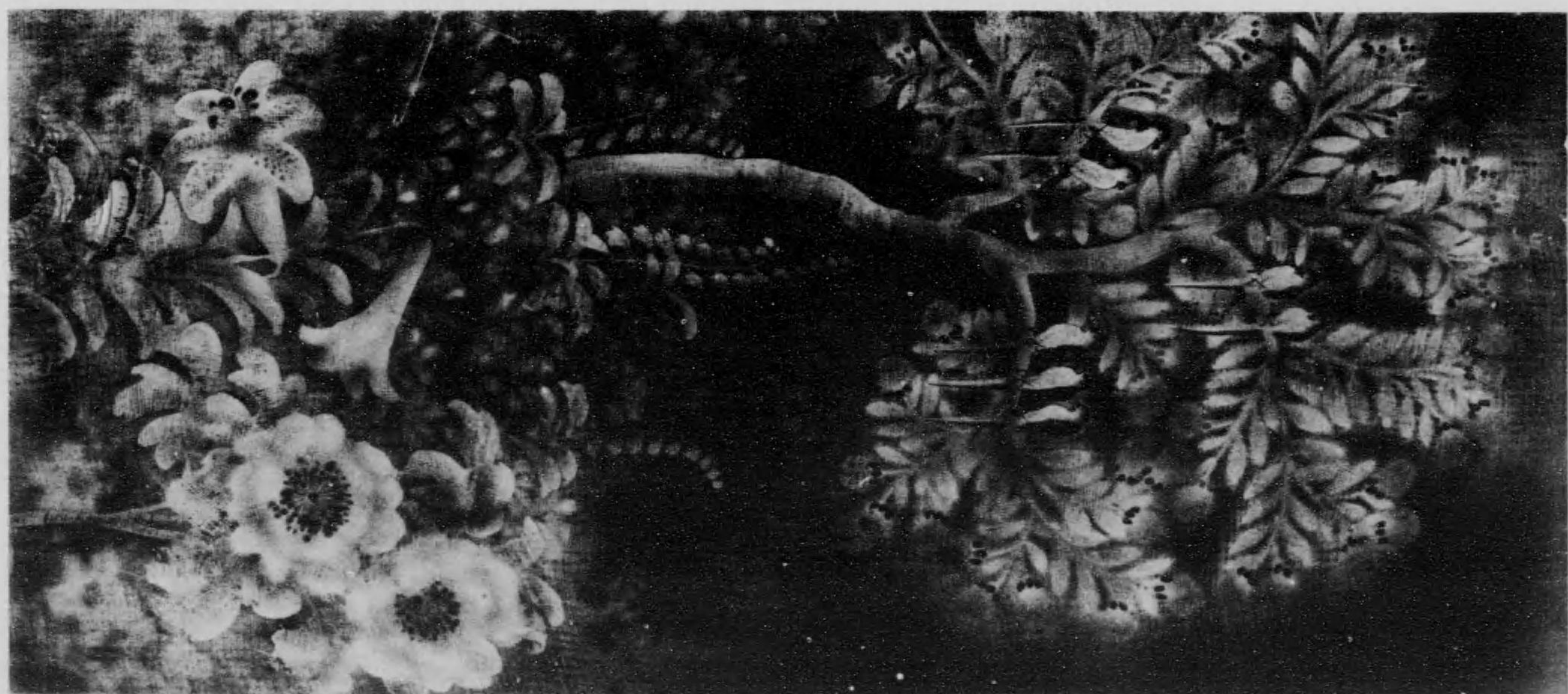


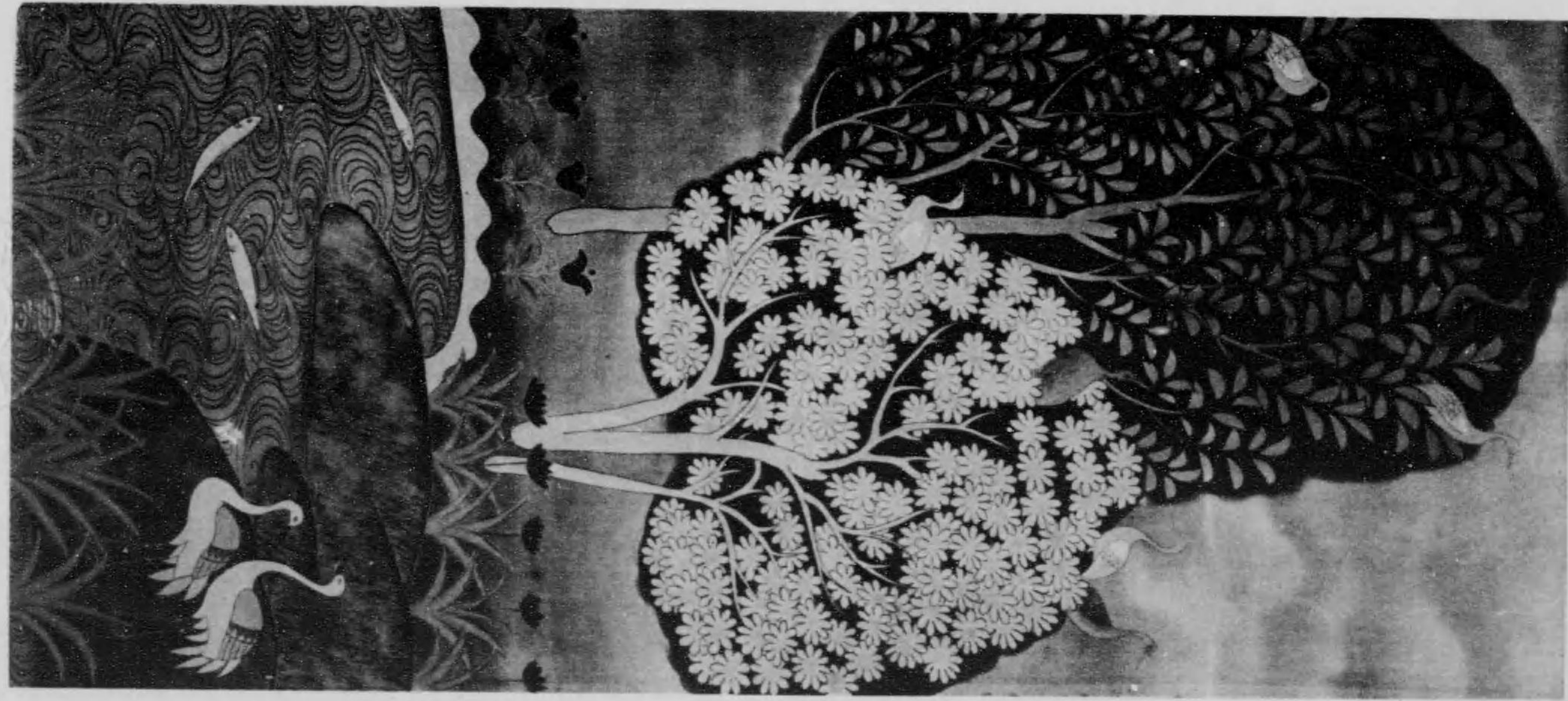


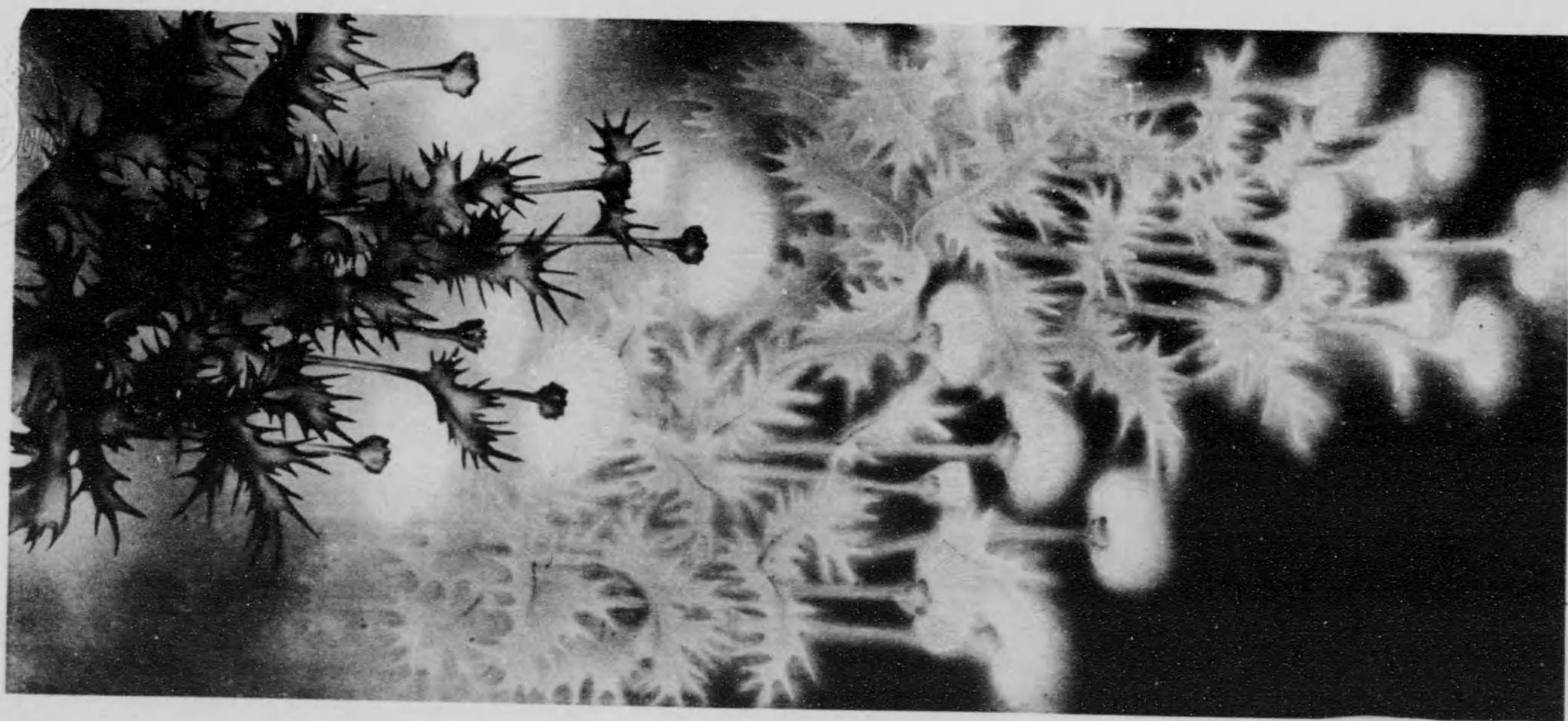


6

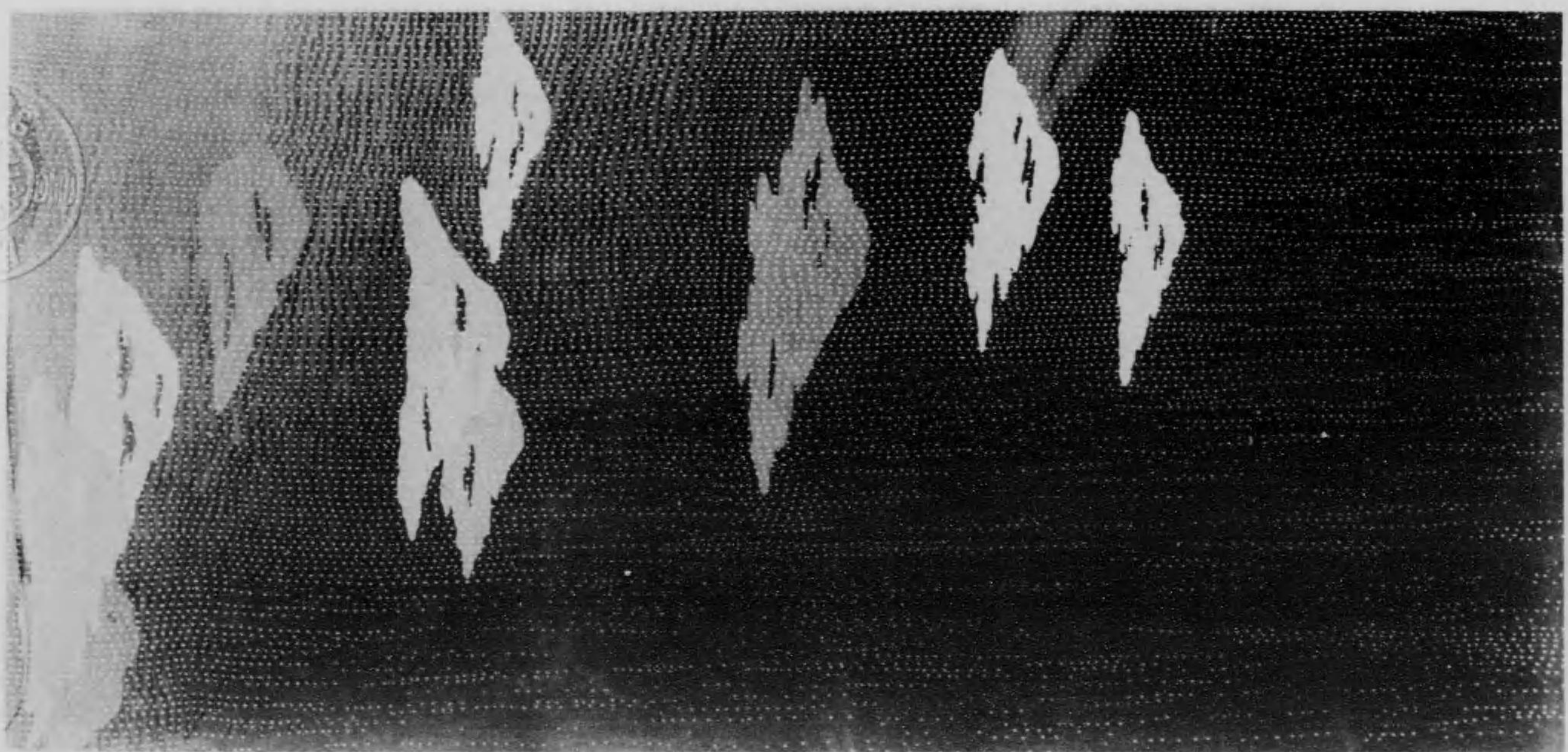








2



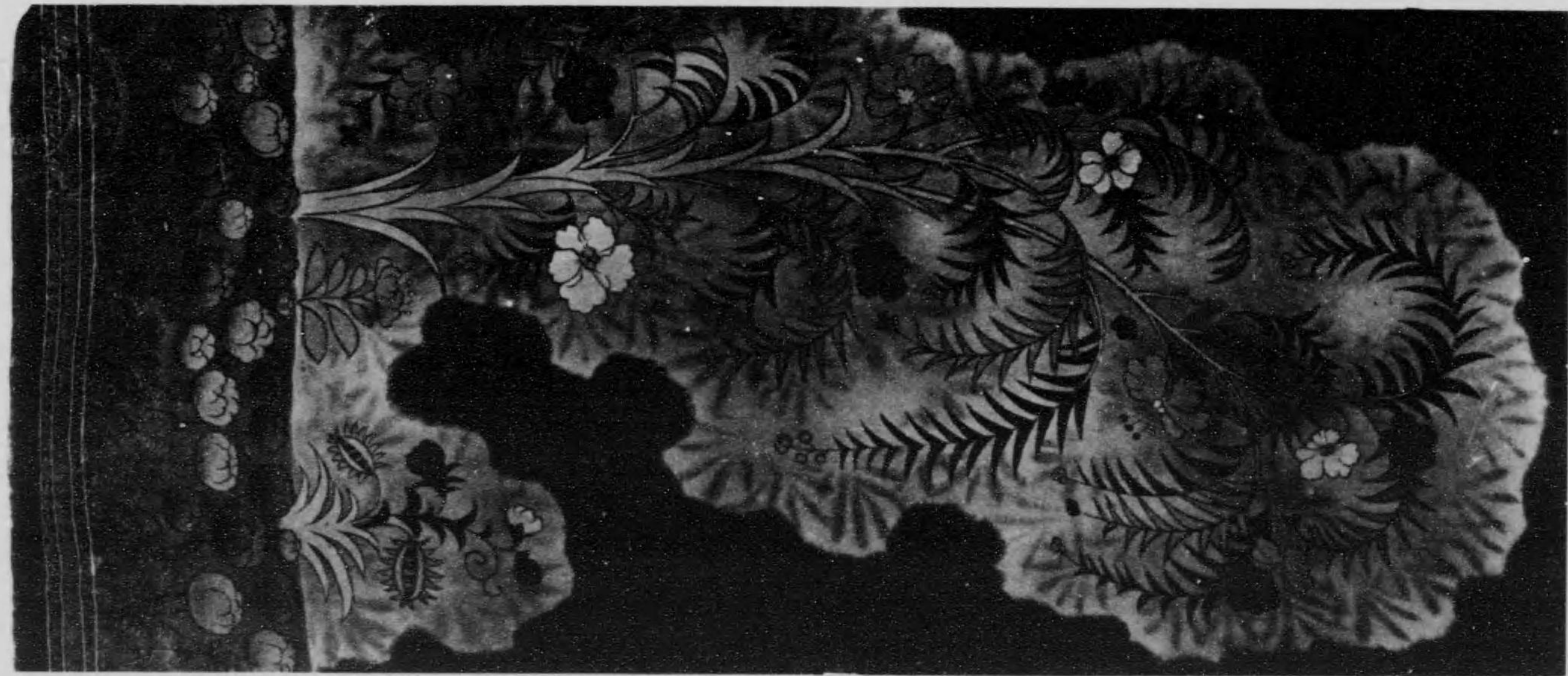


+



Small square seal or stamp on the left side of the illustration.

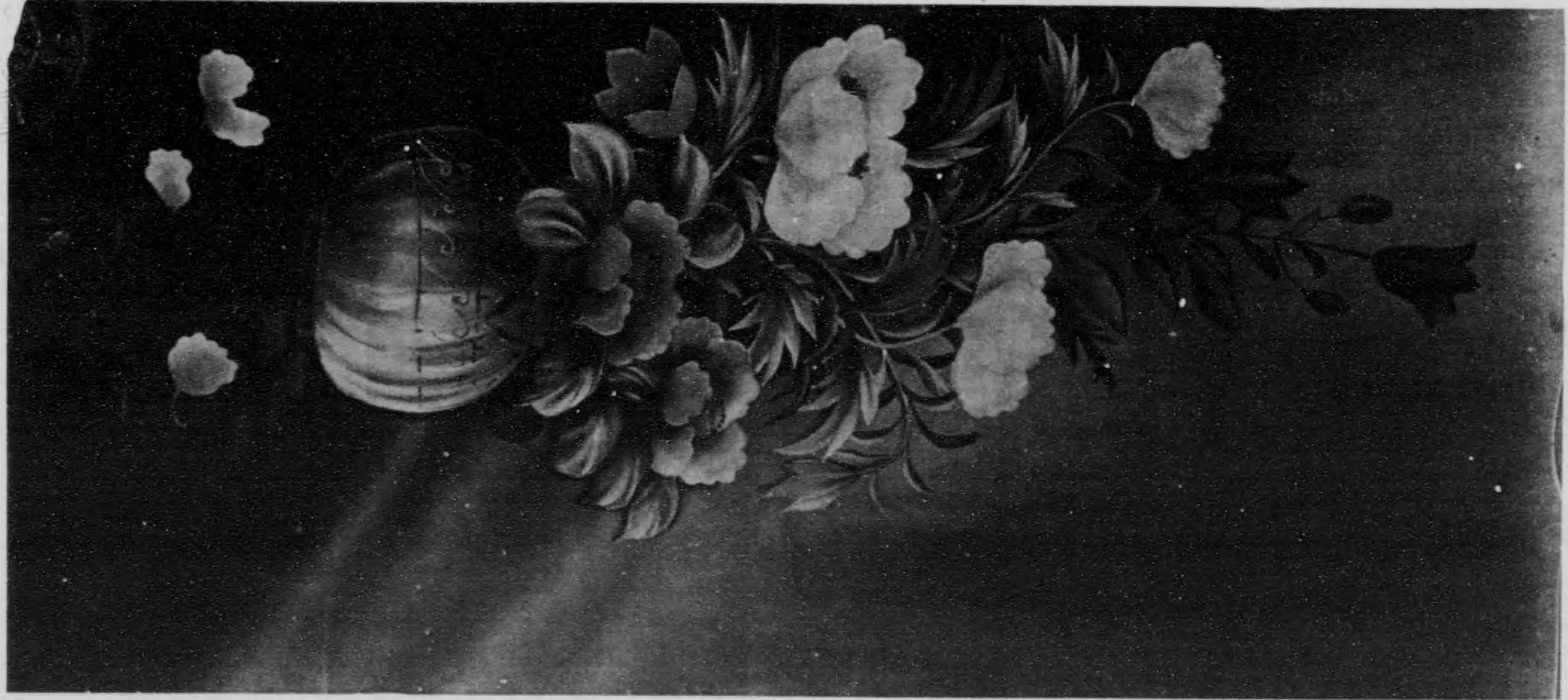
1 +



11 +



III +



④ +



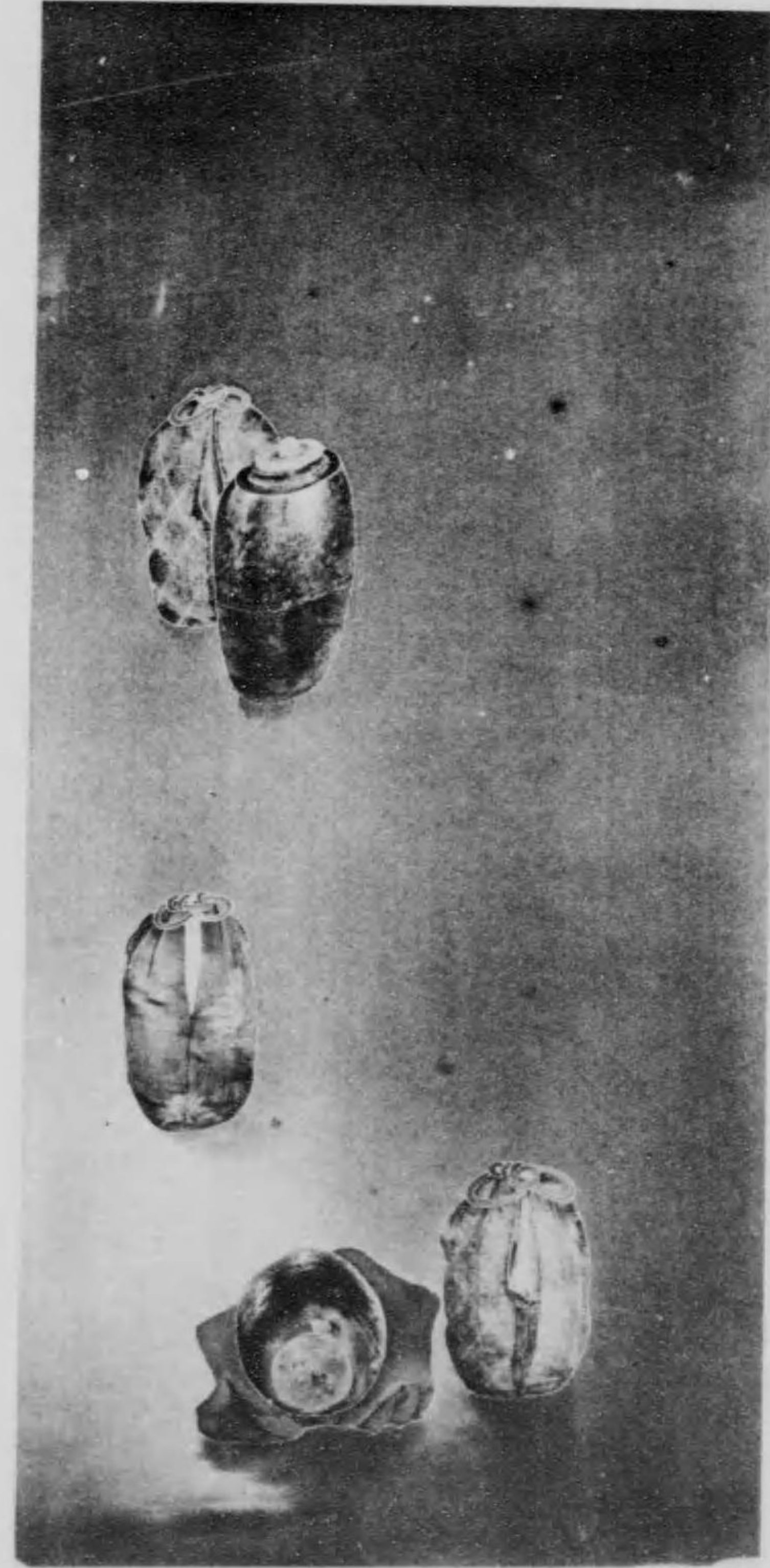
十
六



十
五



十
八



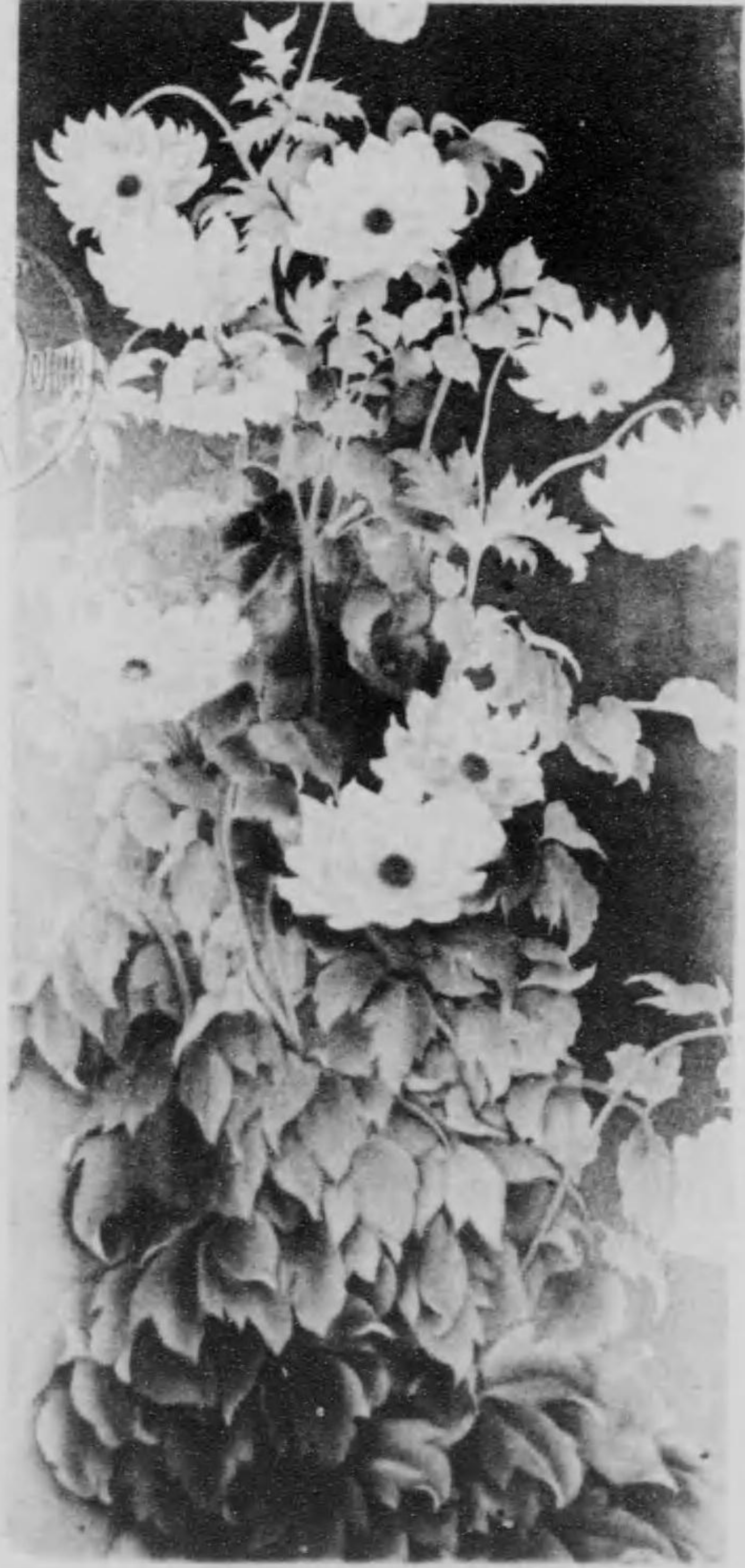
十
七



二
十



十
九



二
十
二



二
十
一



图 十二

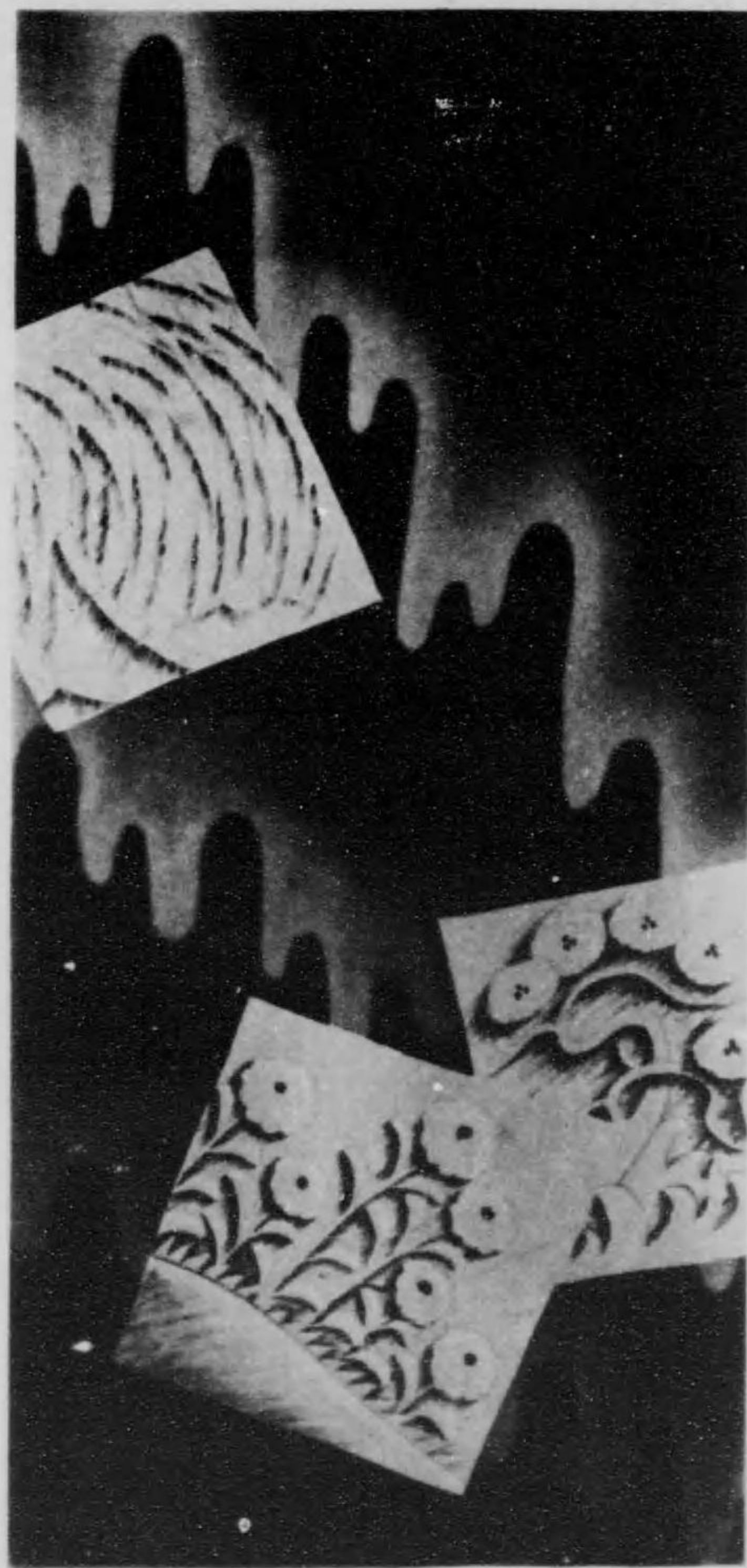


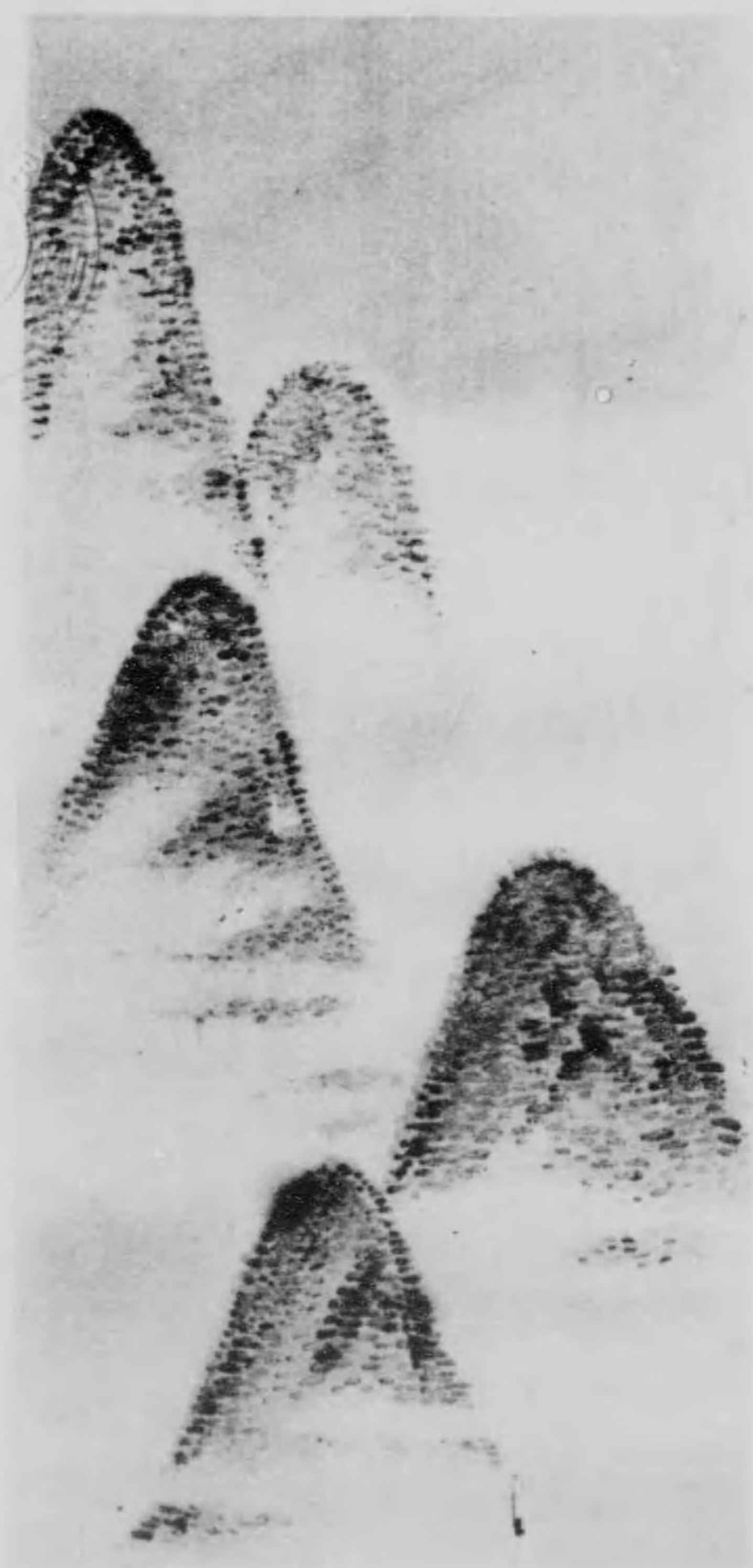
图 十三



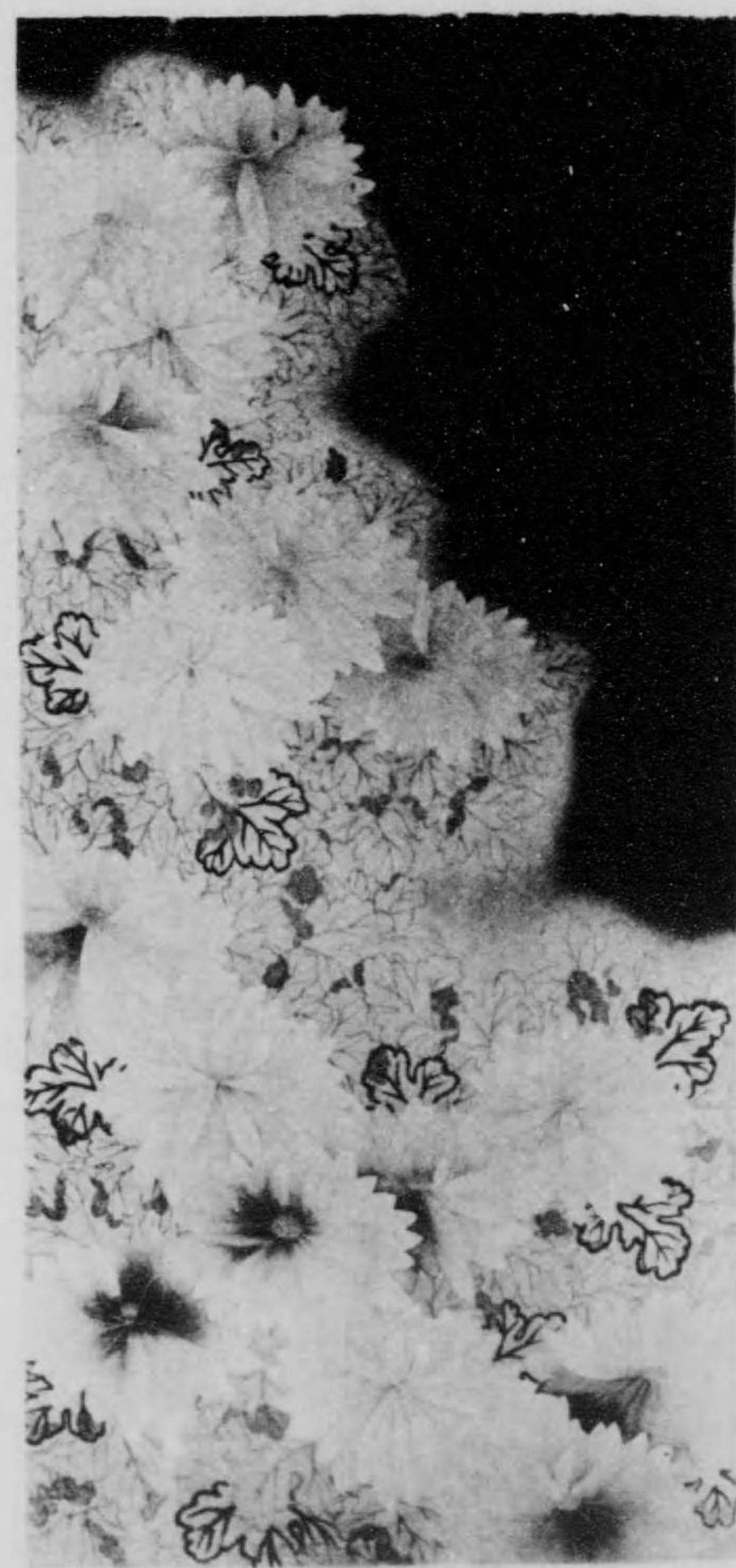
二十六



二十五



二
十
八



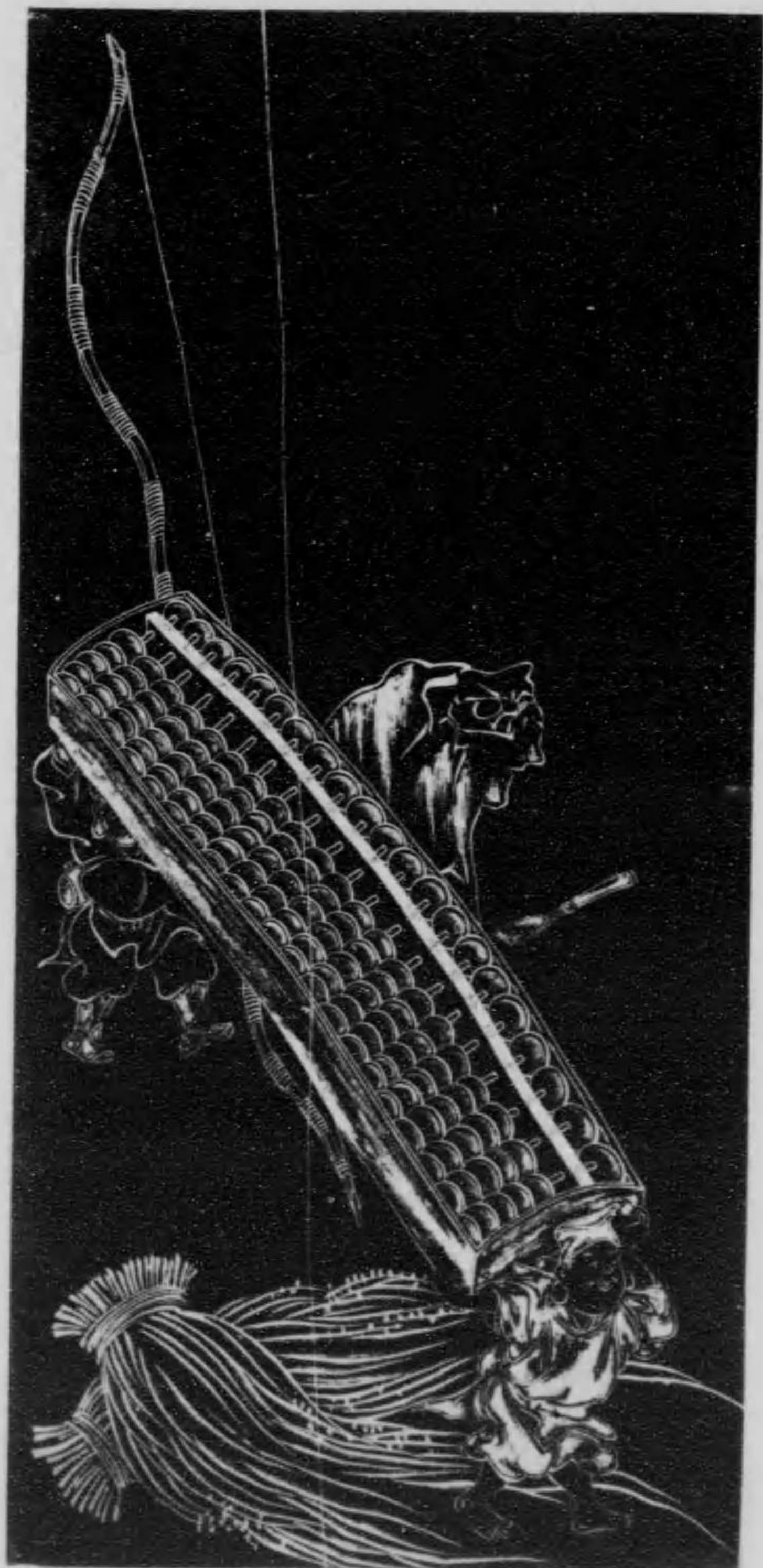
二
十
七



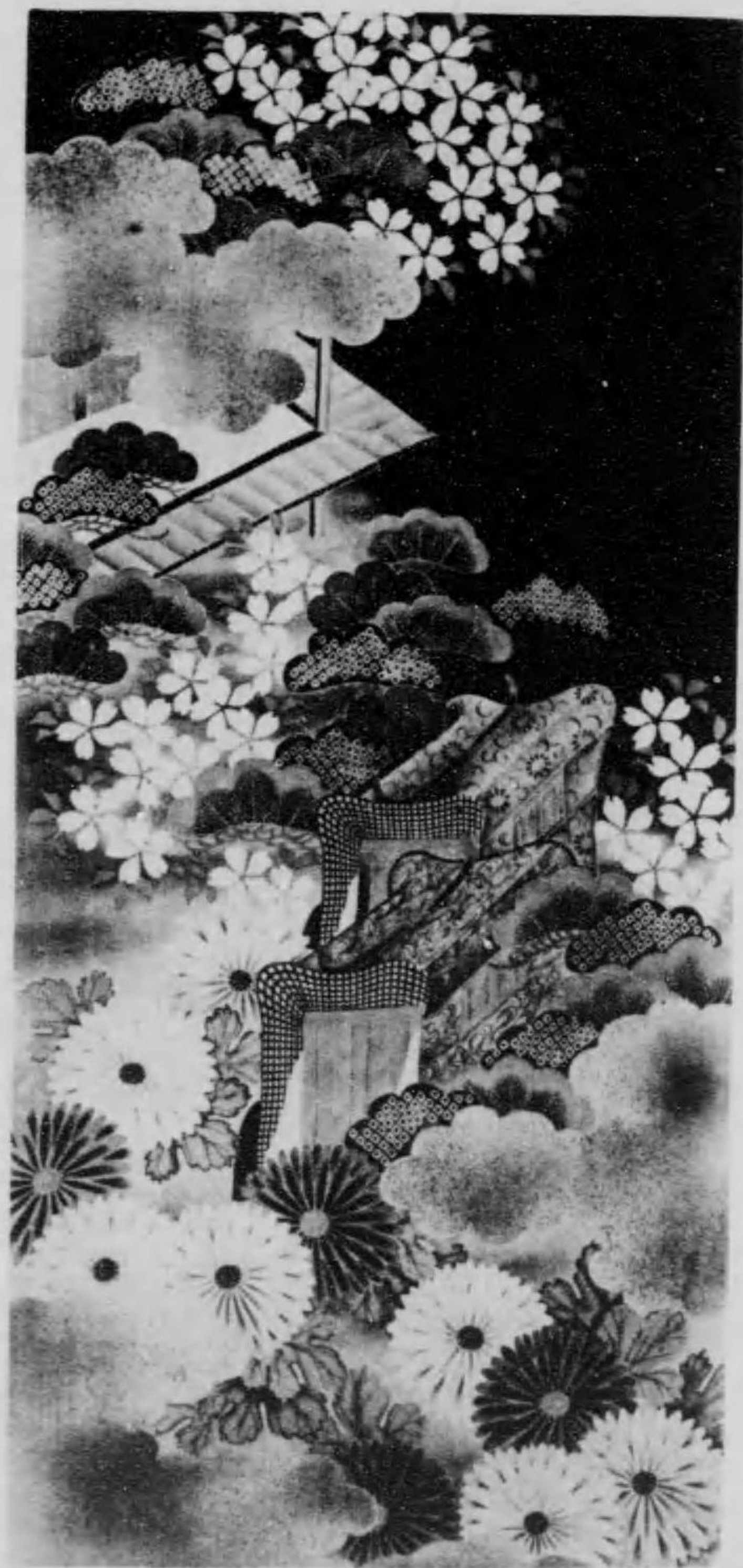
三
十



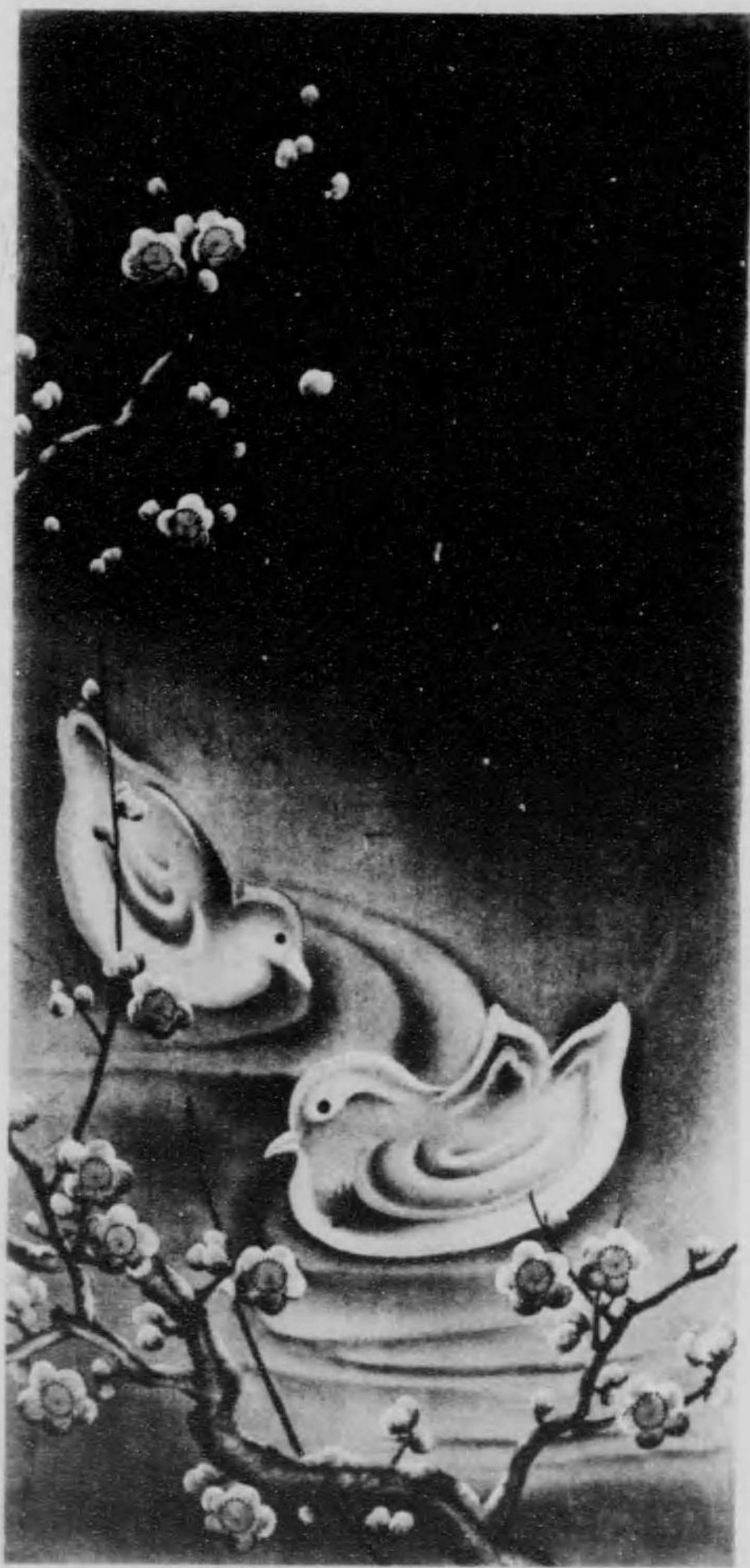
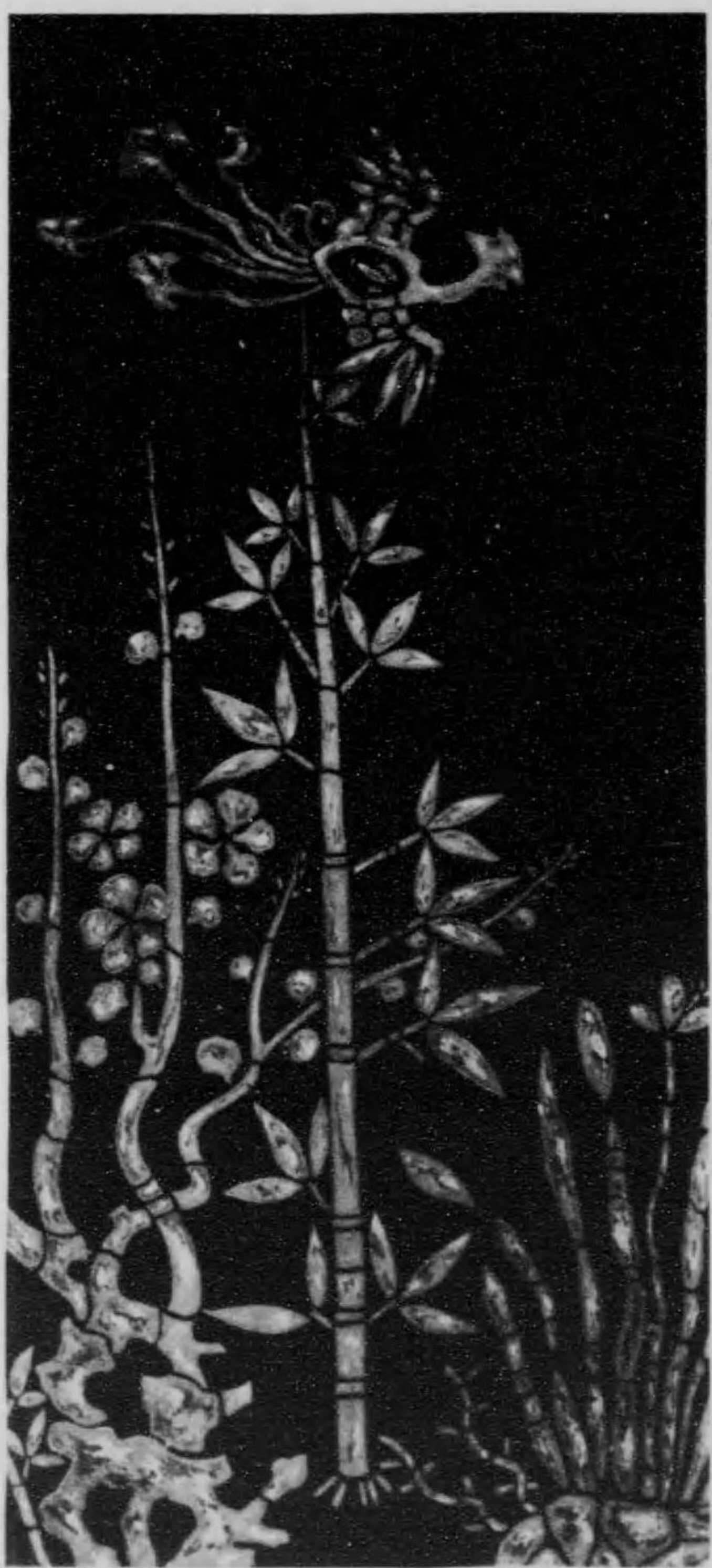
二
十
九



三
十
二



三
十
一





三十六



三十五



三十八



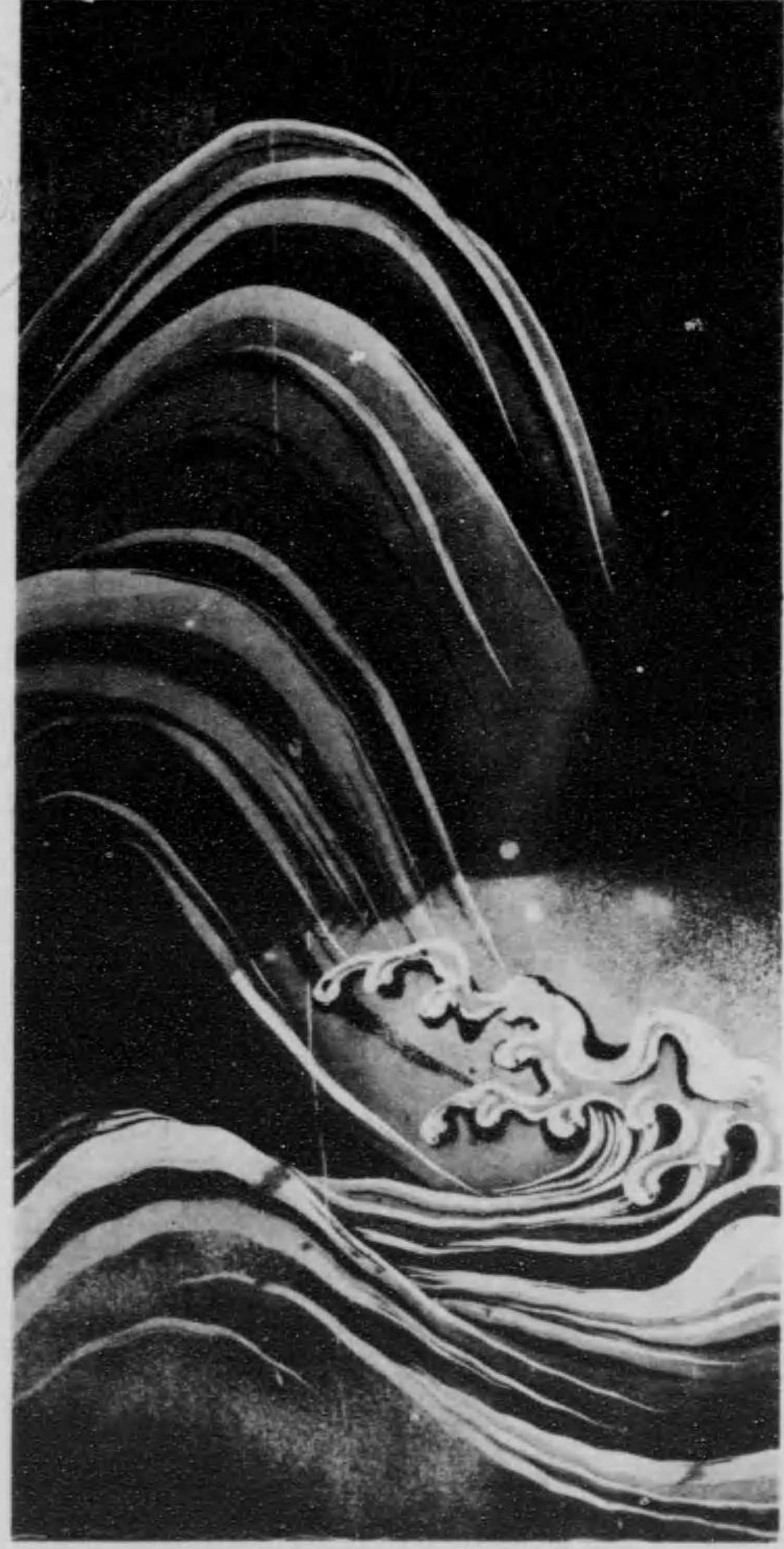
三十七



四十



三十九



四十一

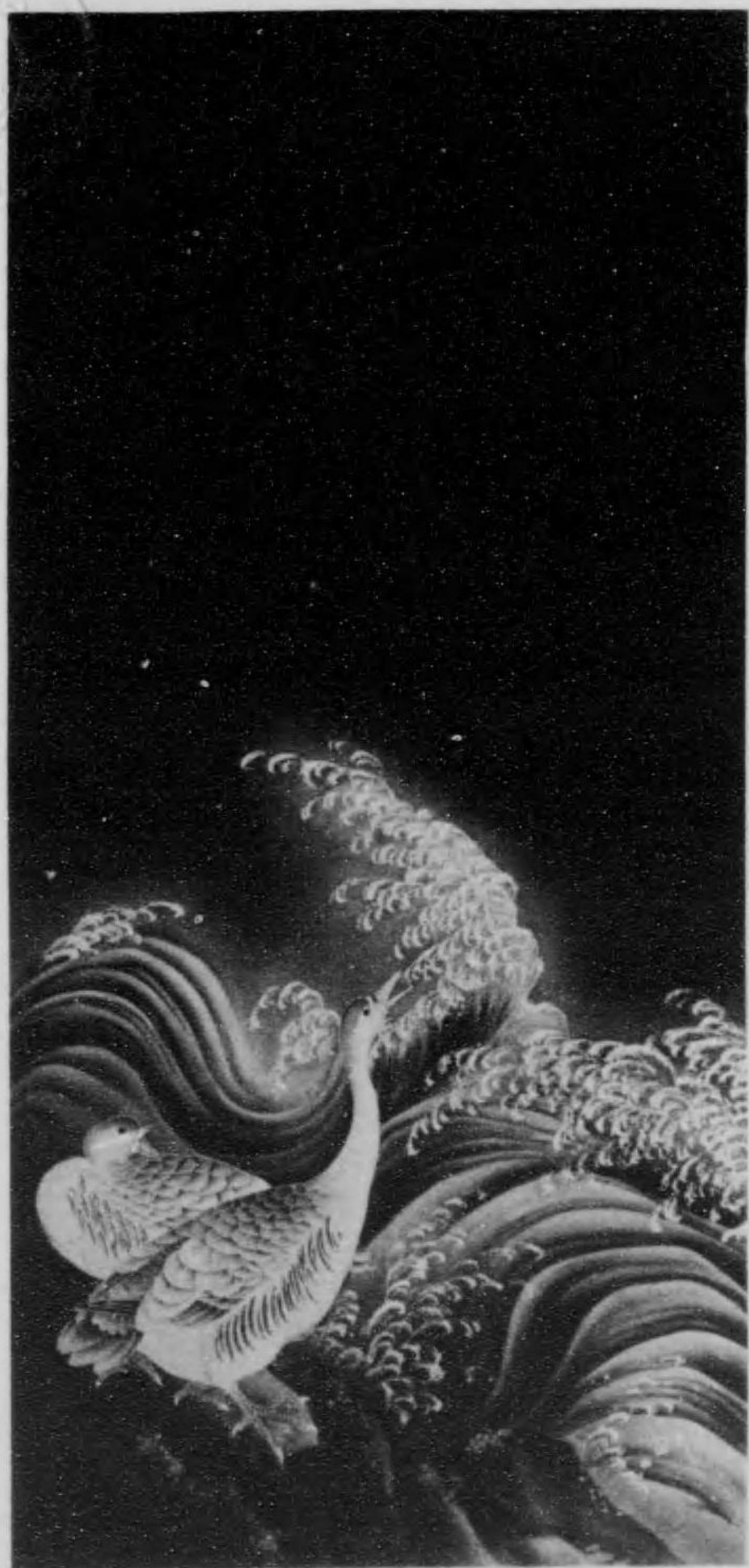


四十二

四十三



四十四

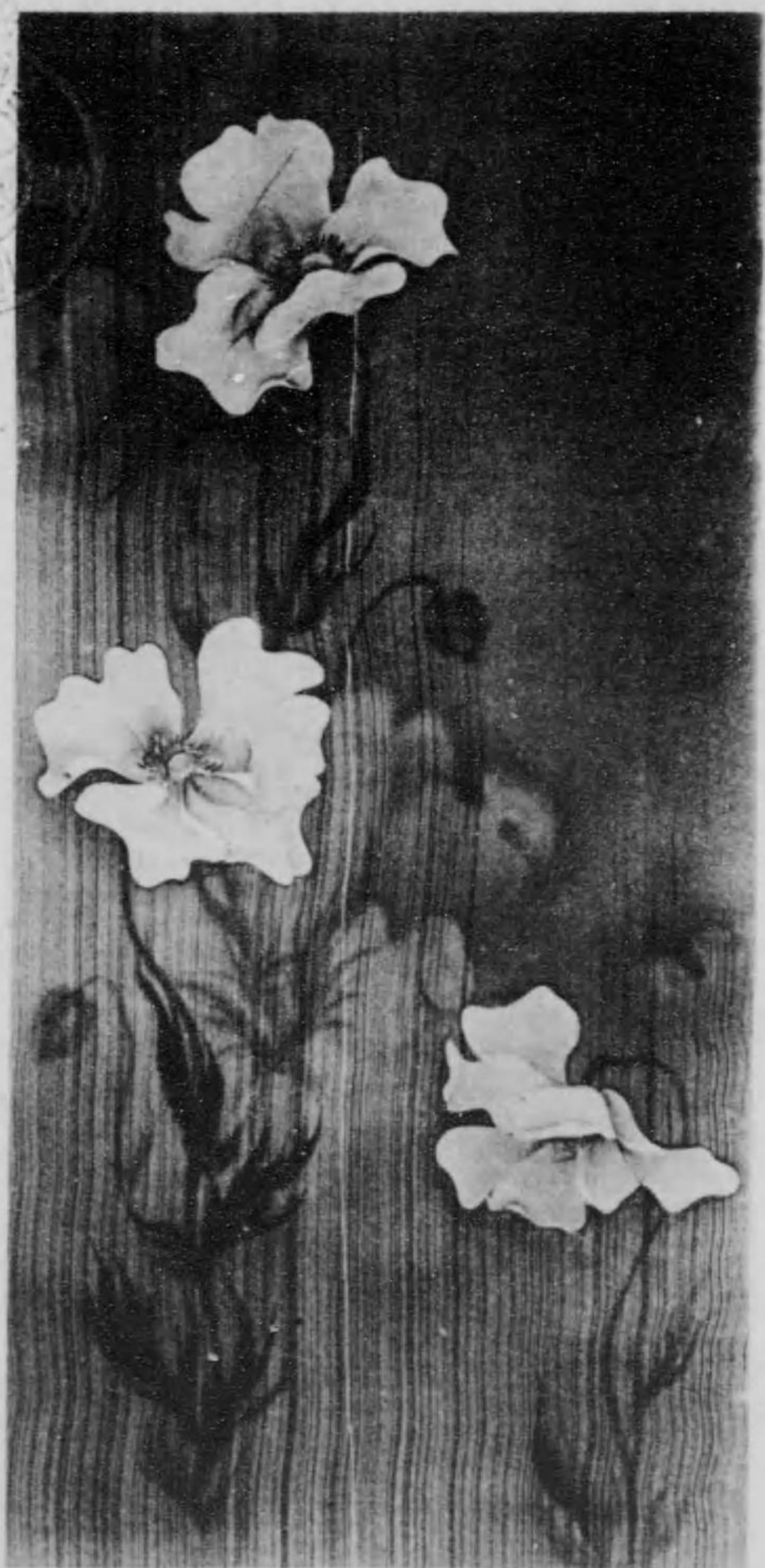




四十六



四十五



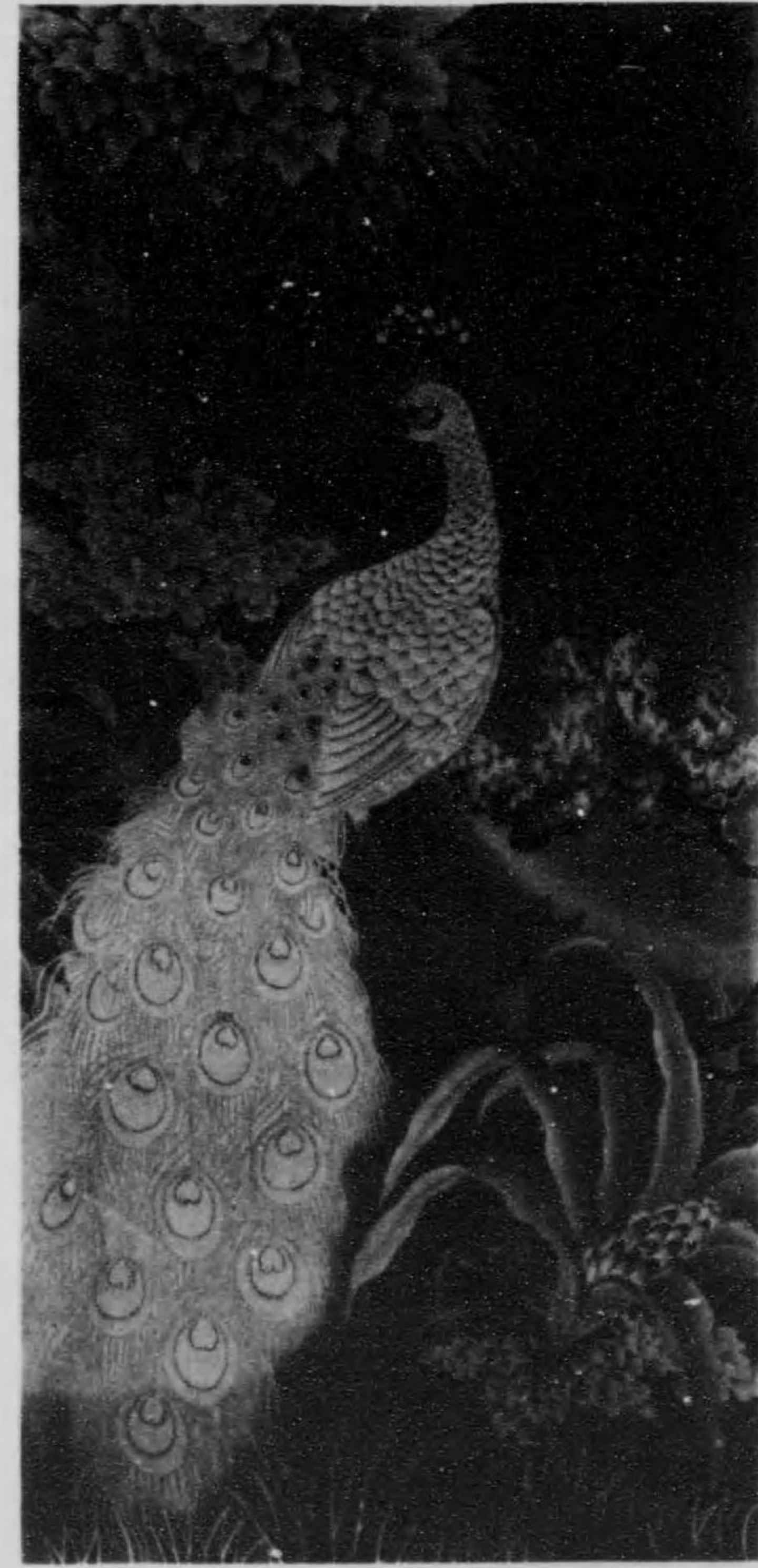
四十八



四十七



五
十



四
十
九



五十二

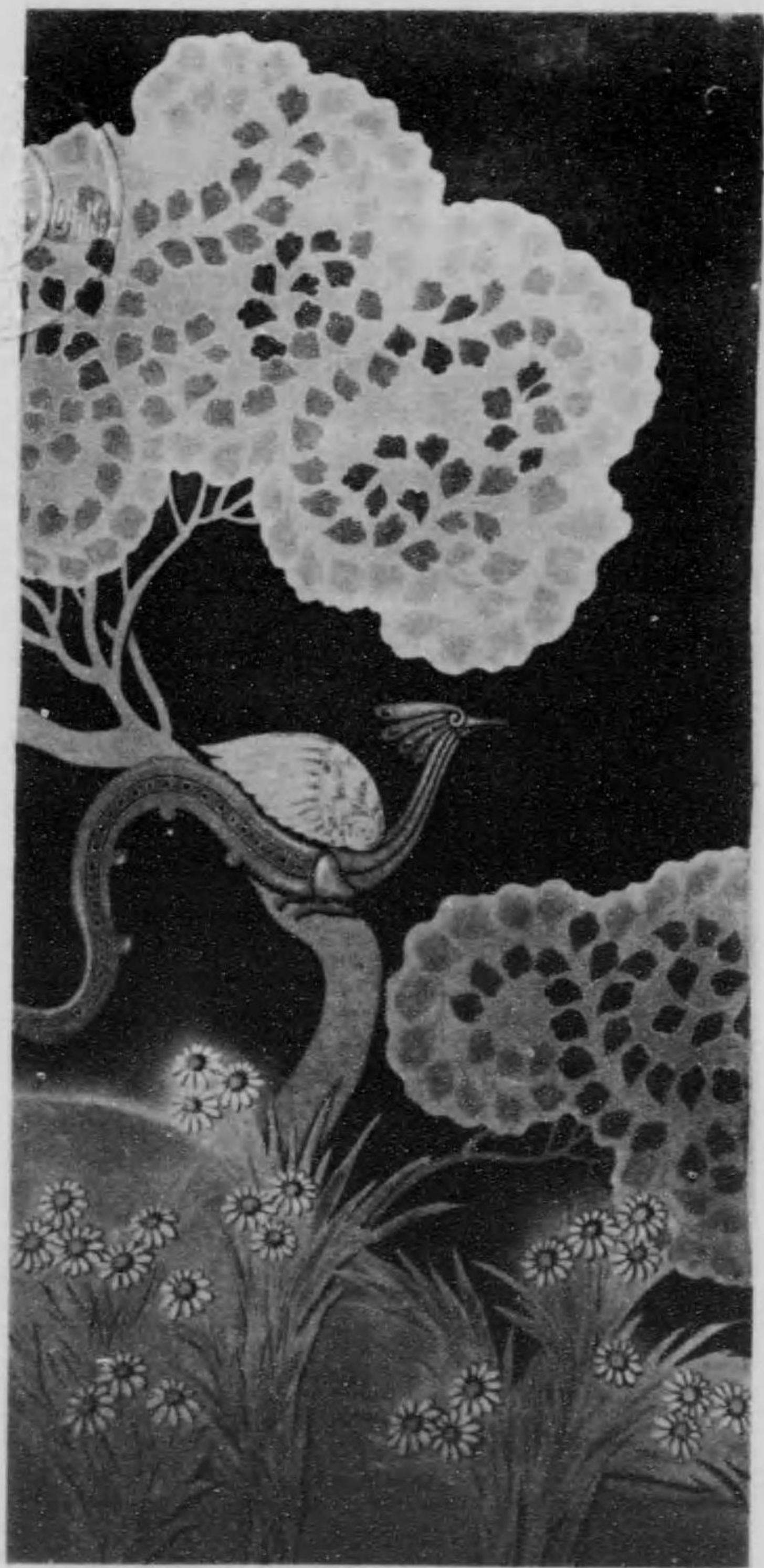


五十一

五十三



五十四

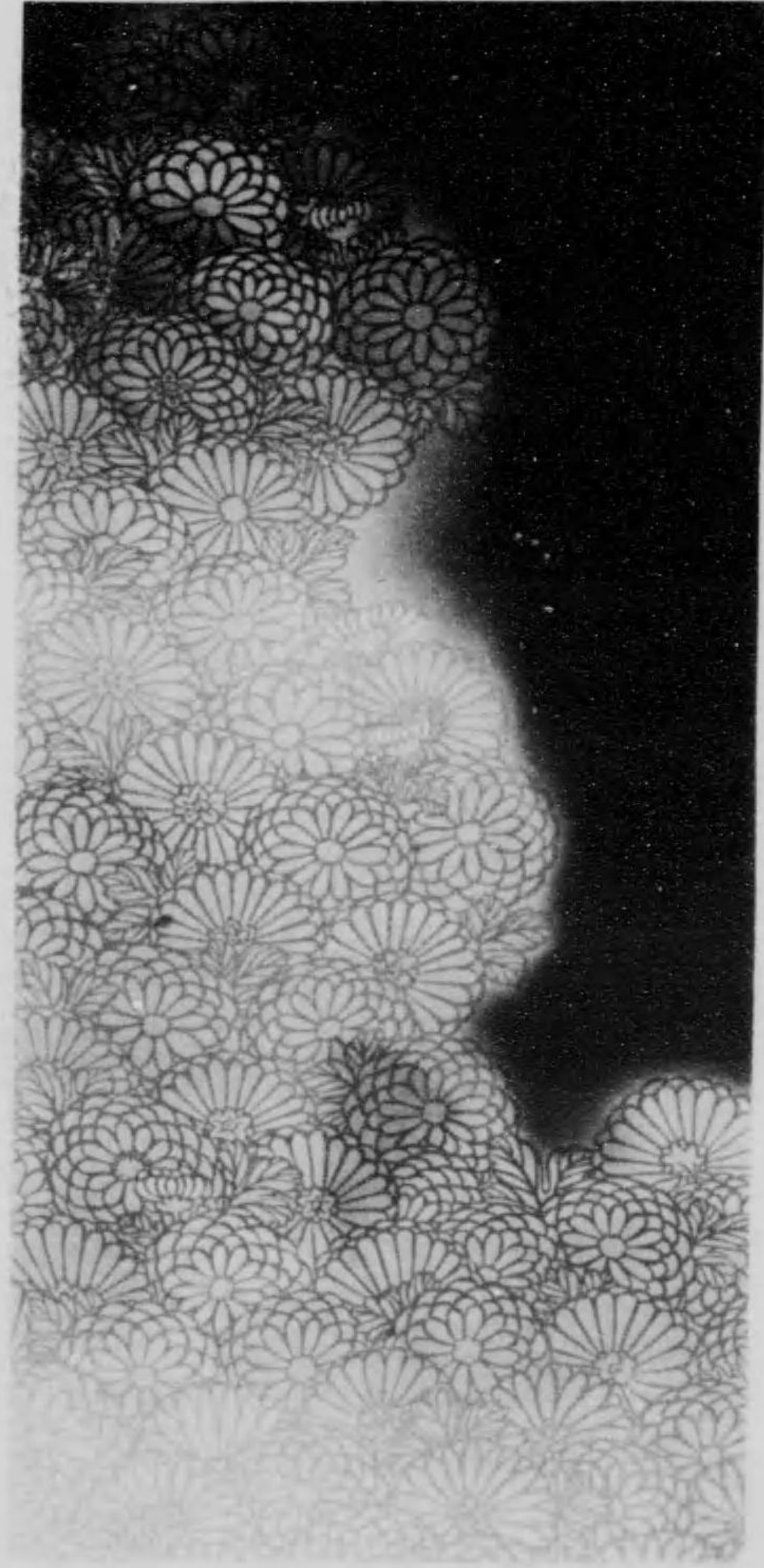




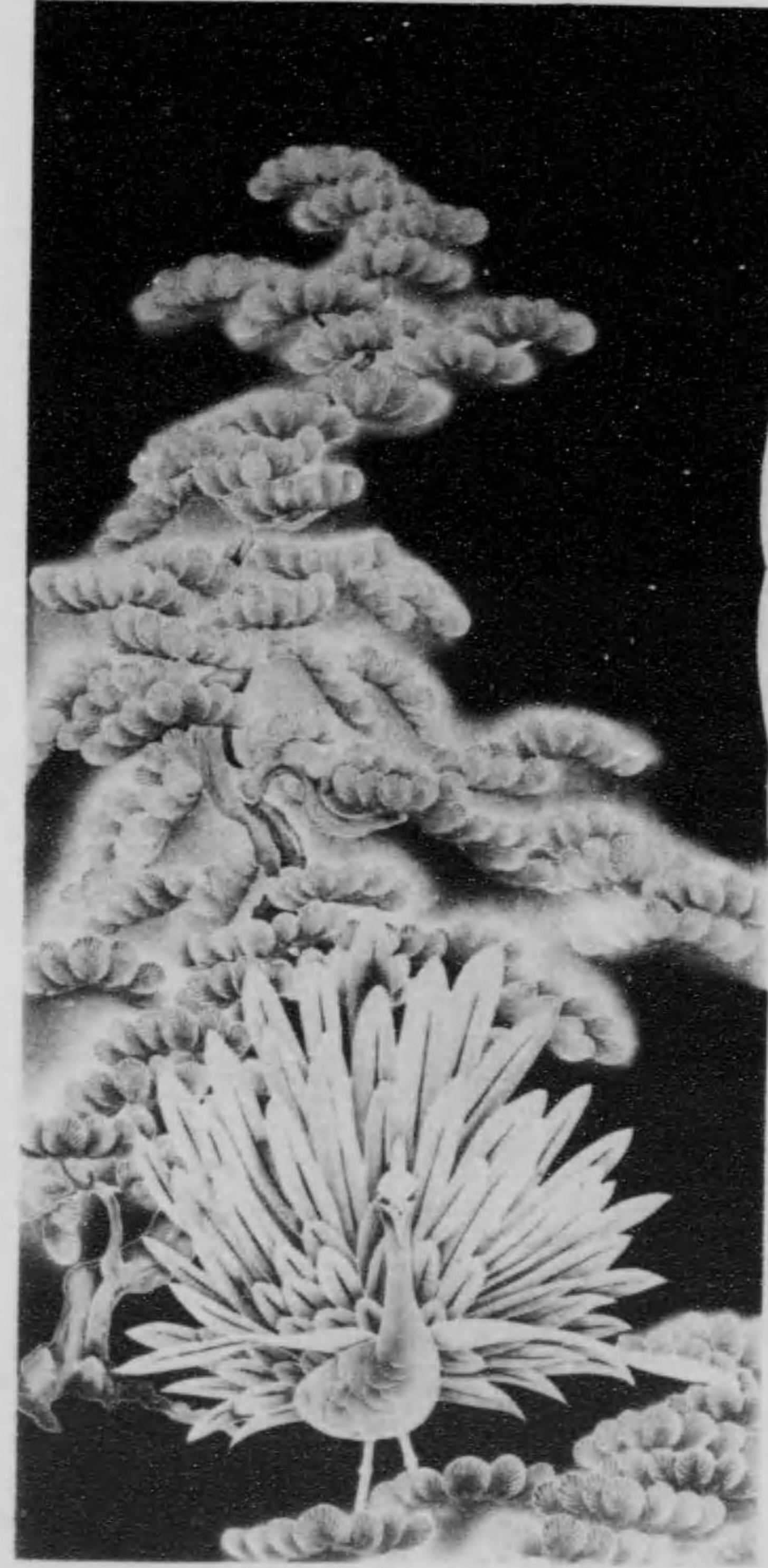
五十六



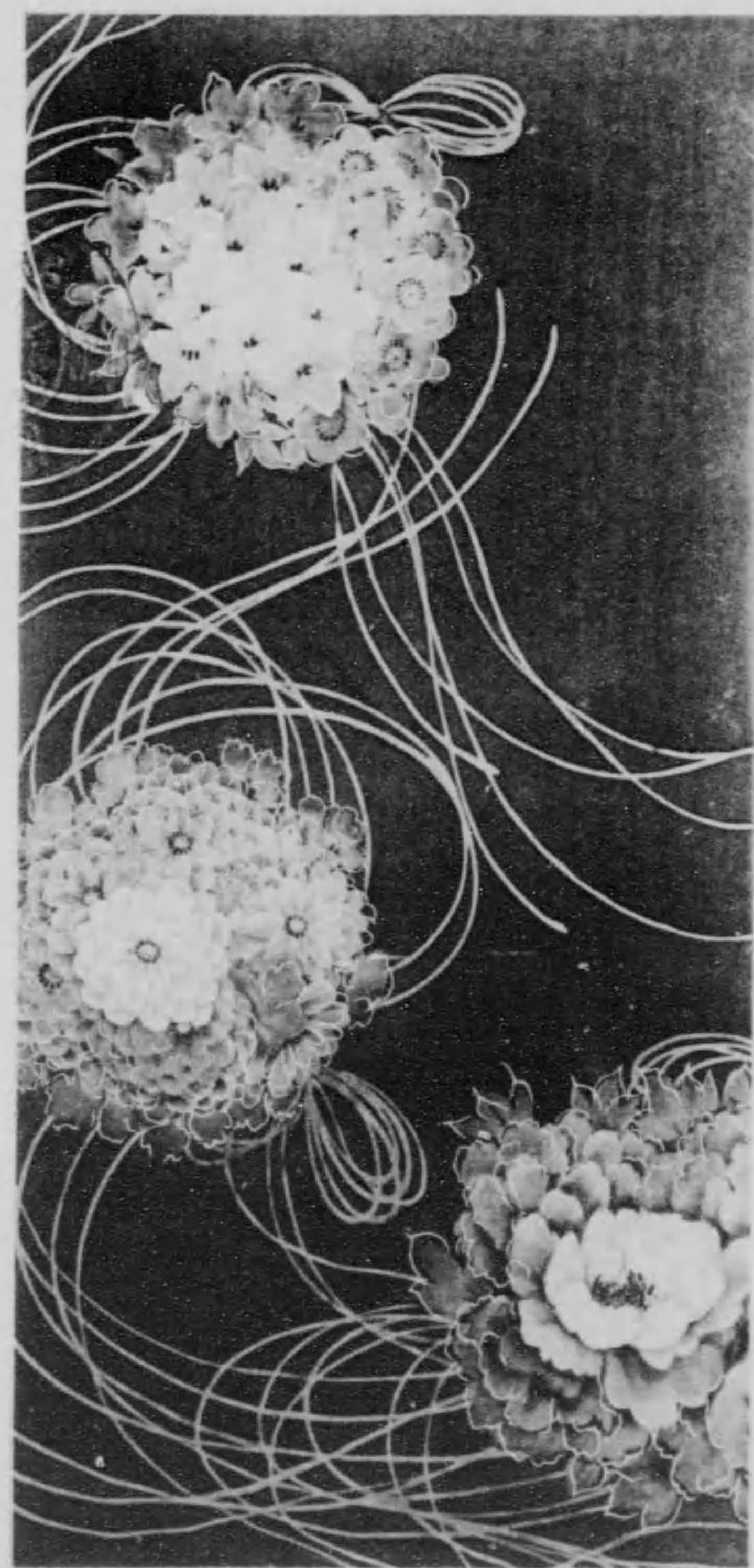
五十五



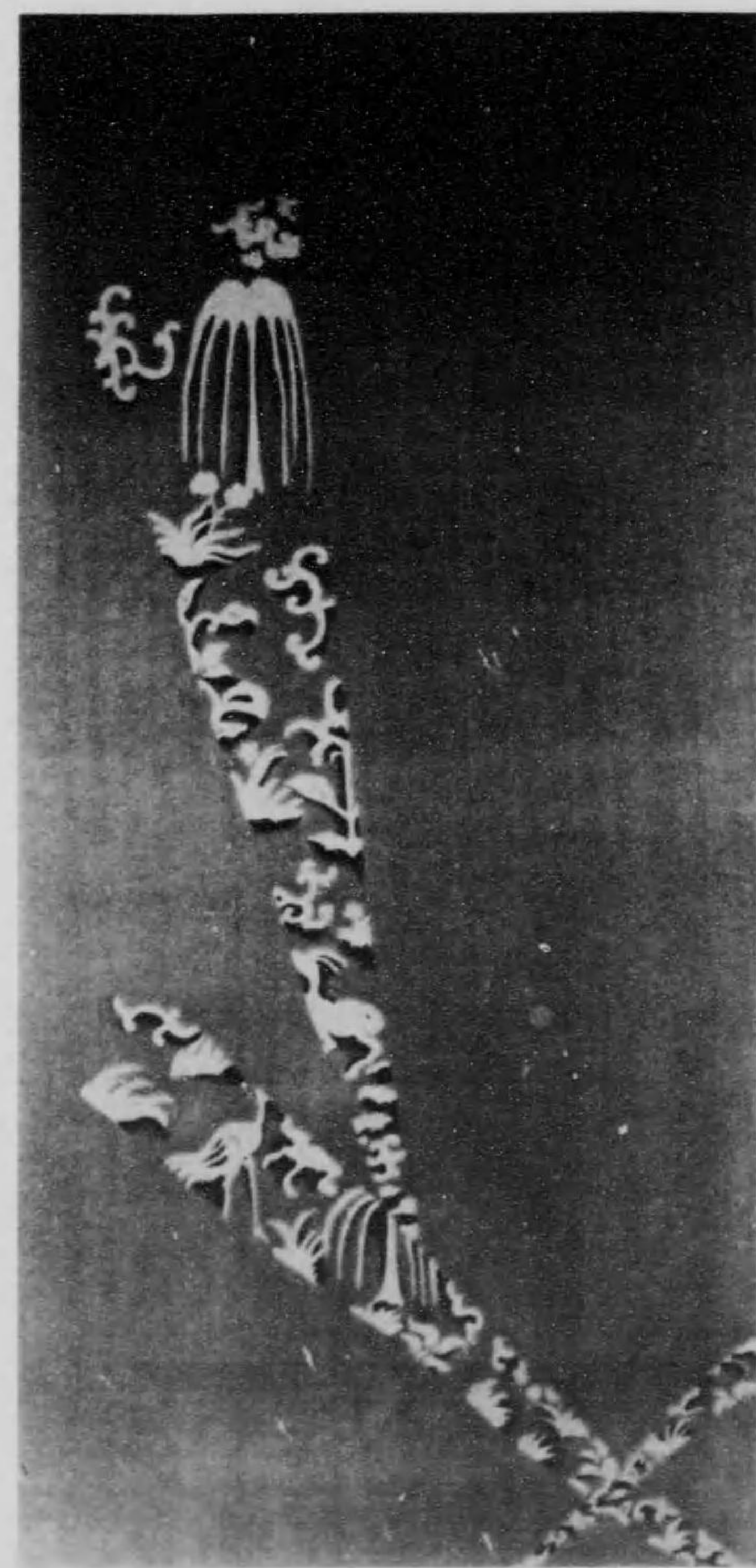
五十八



五十七

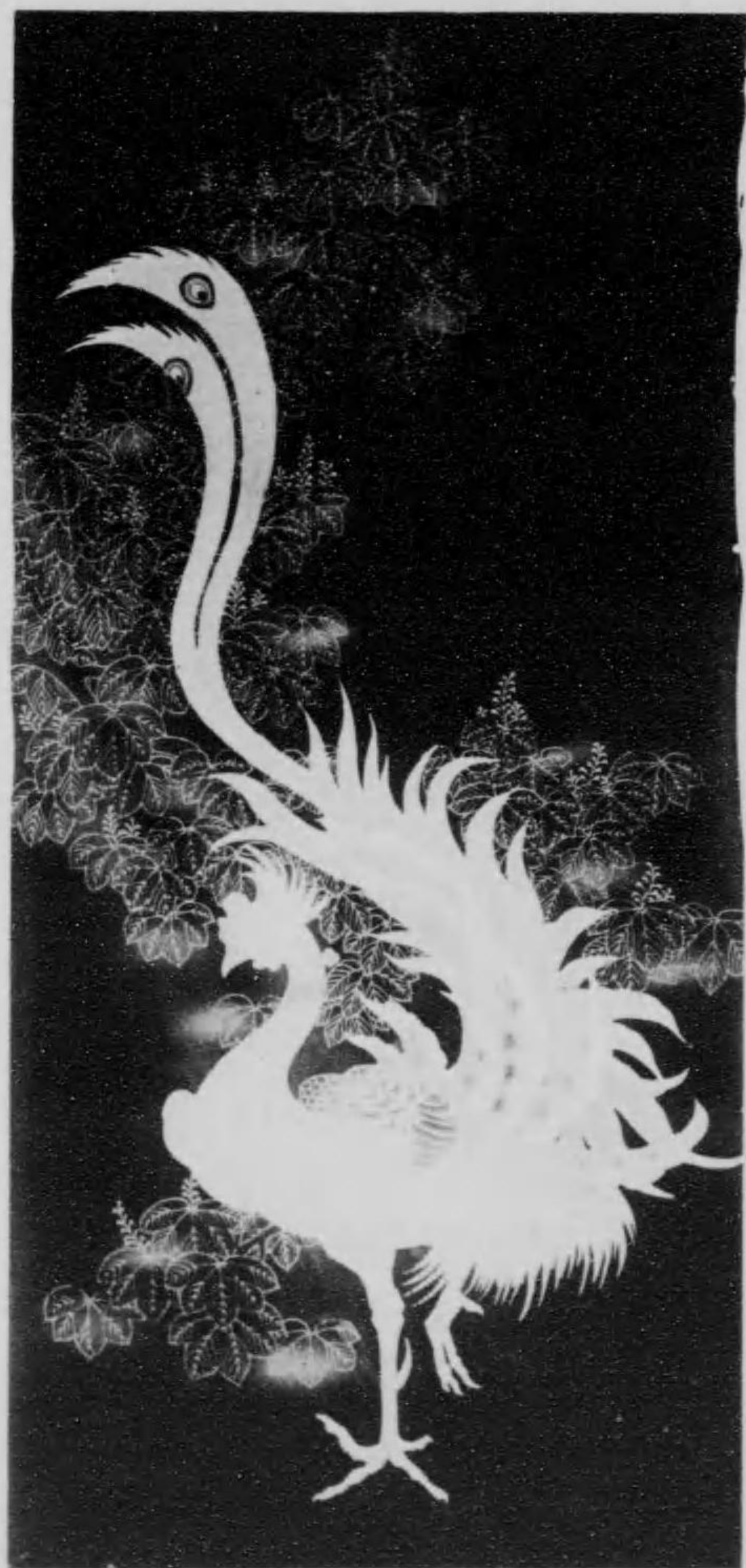


六十

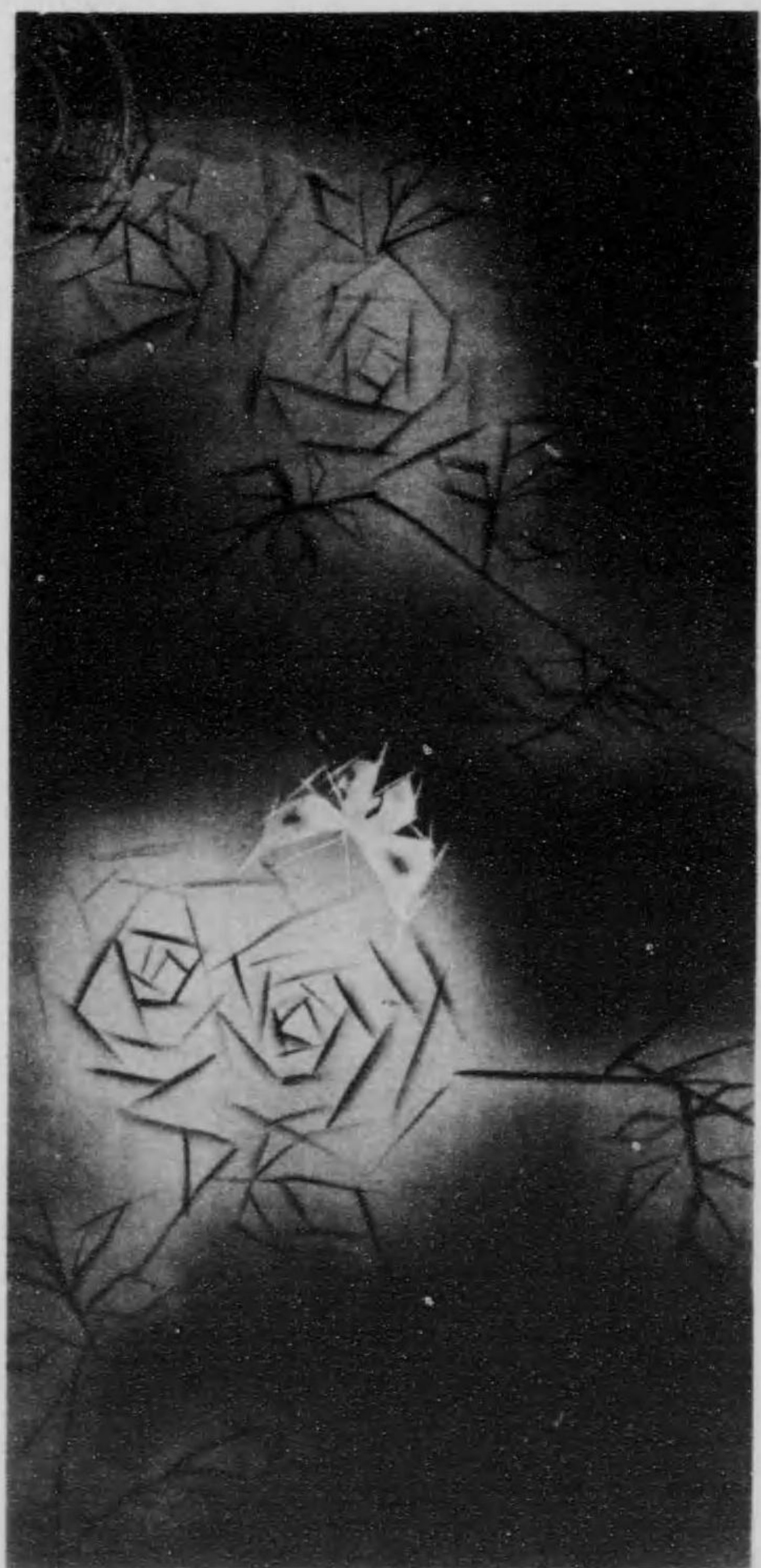


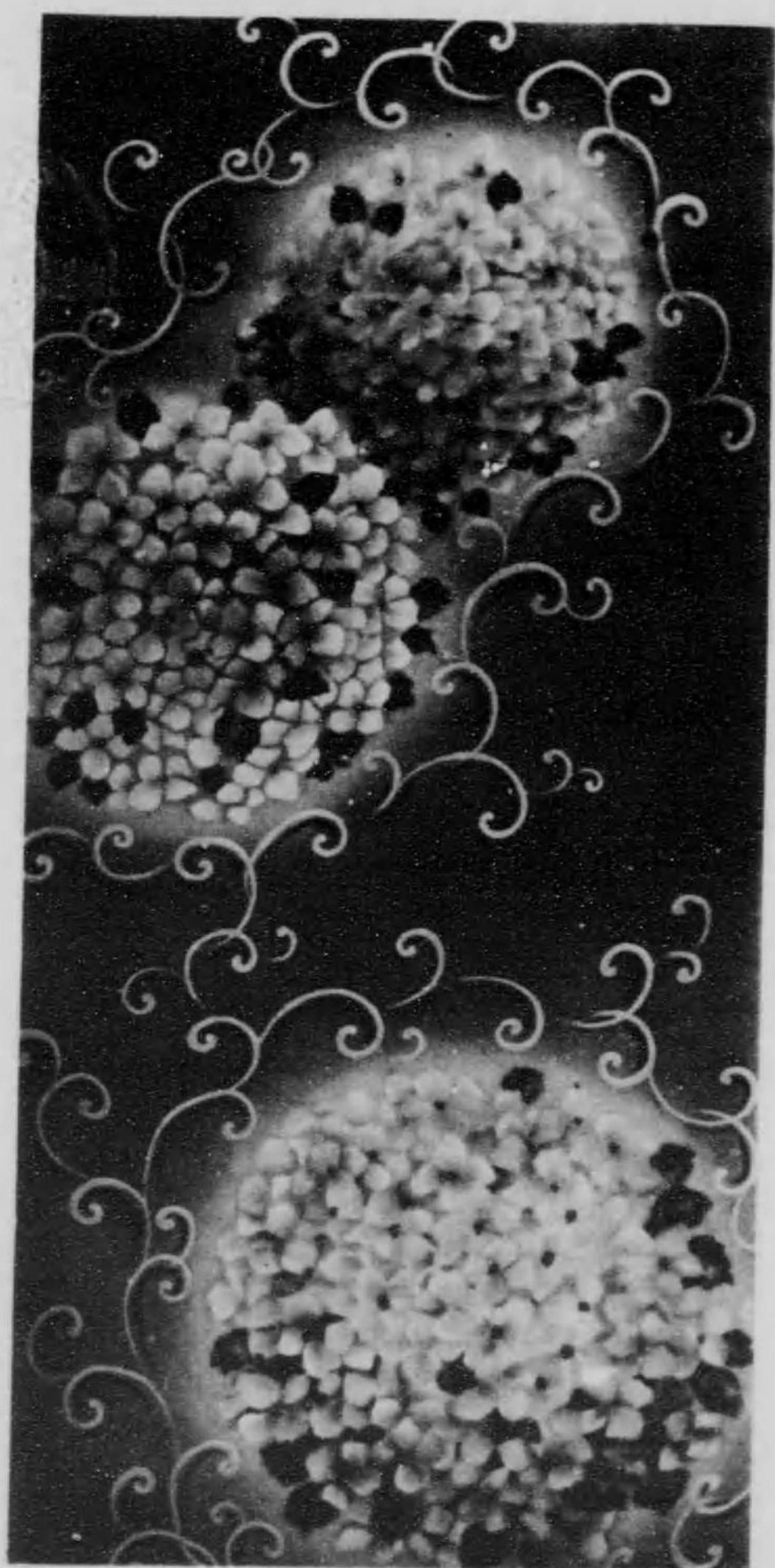
五十九

六十一



六十二

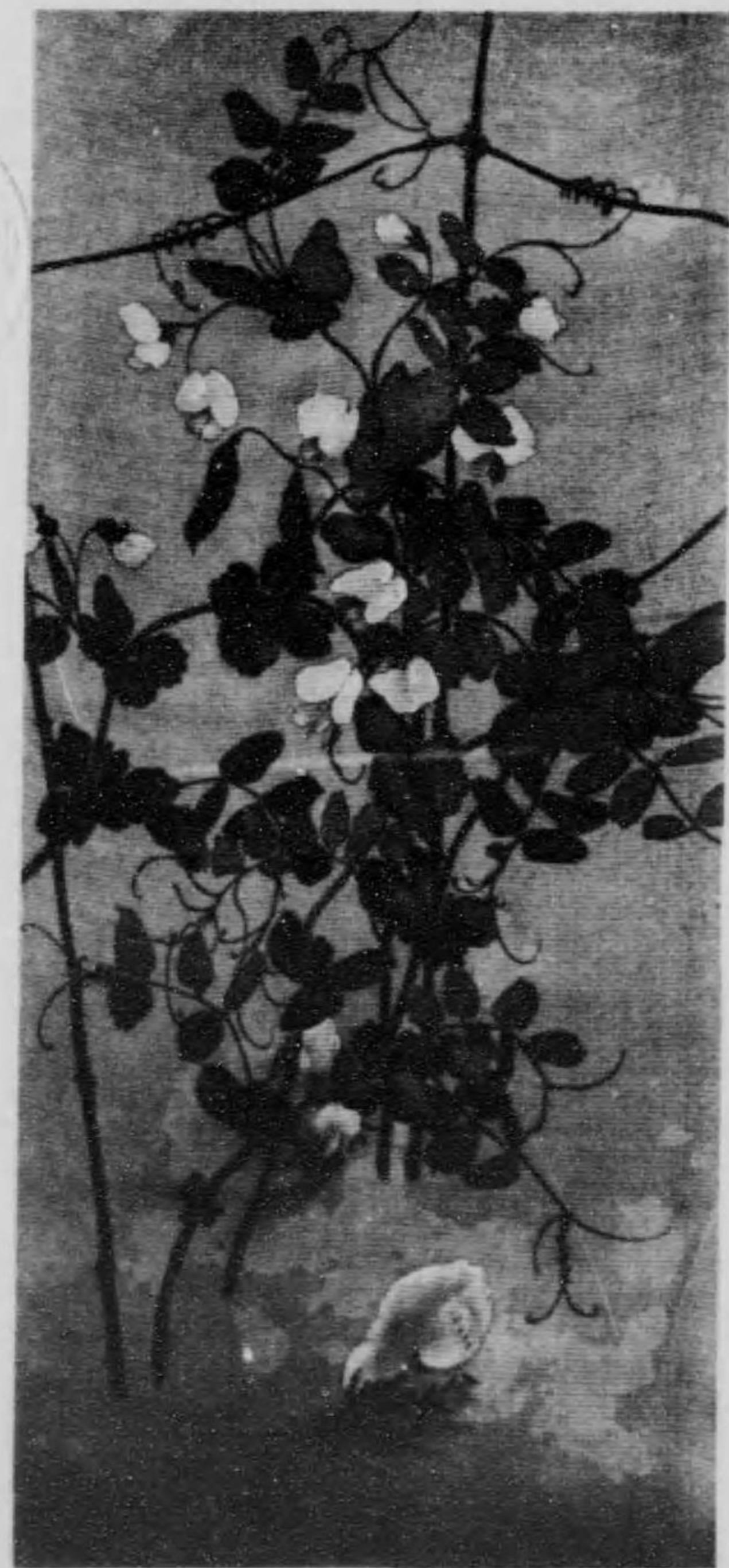




六十四



六十三



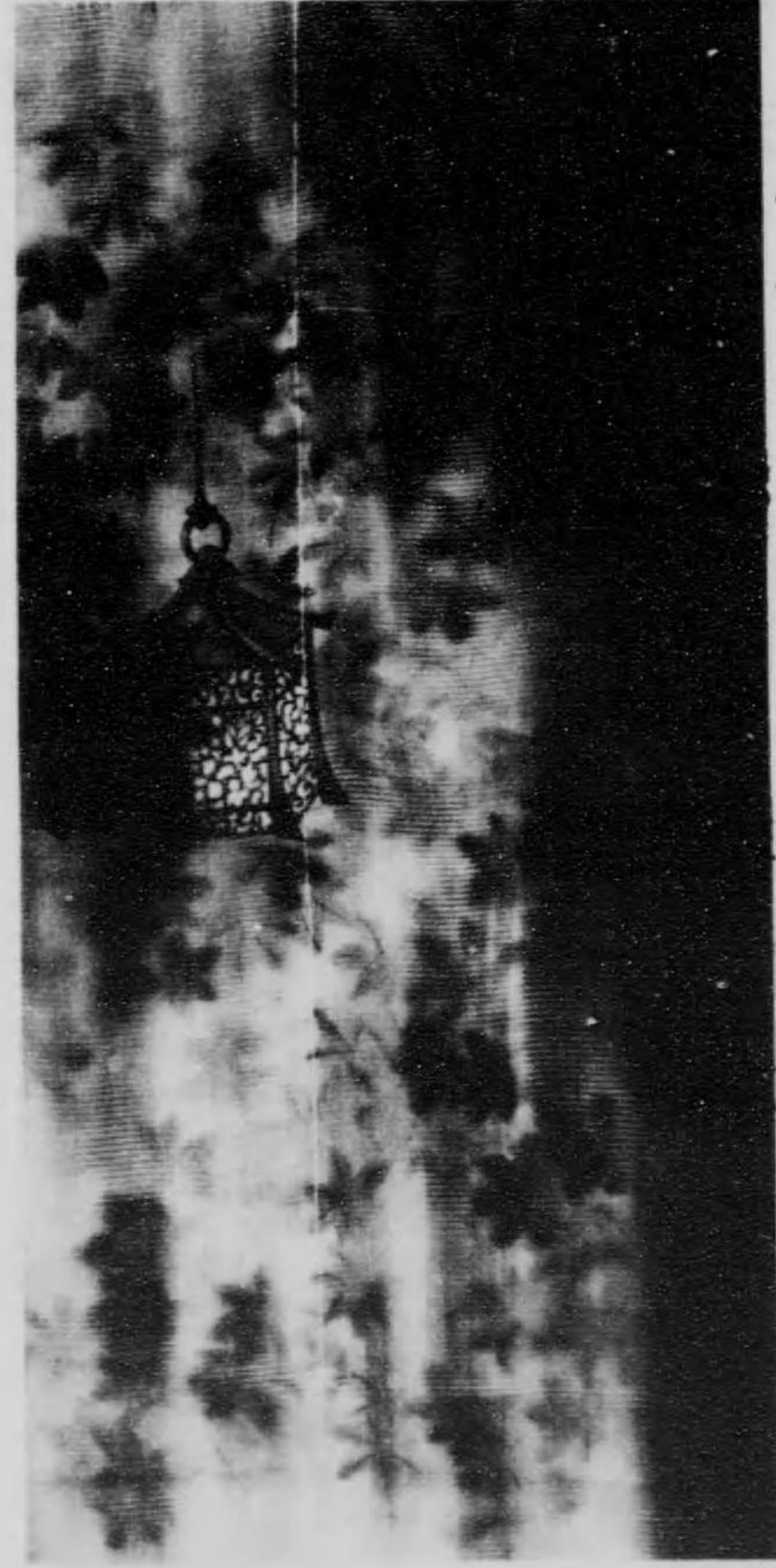
六十六



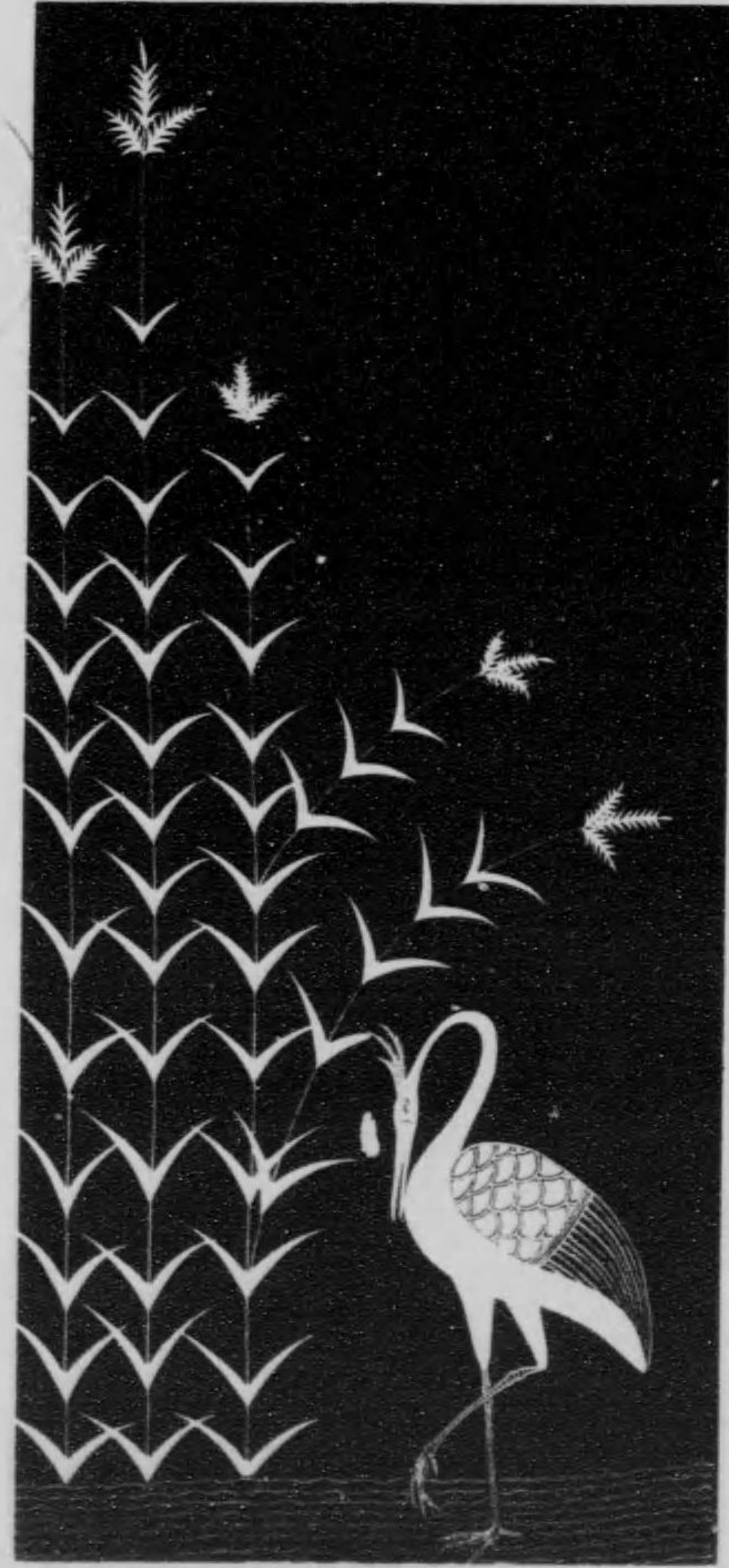
六十五



六十八



六十七



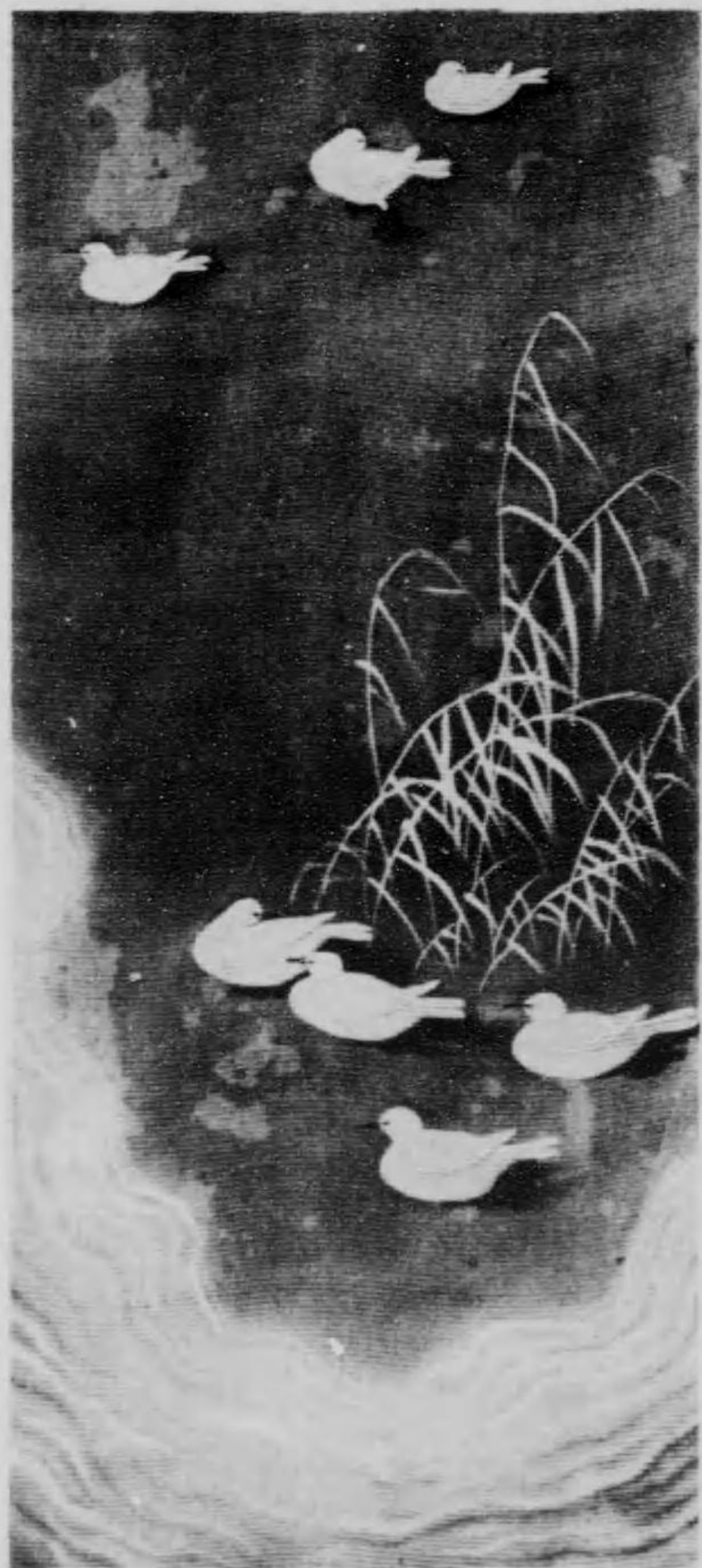
七
十



六
十
九



七
十
二



七
十
一



七
十
四



七
十
三



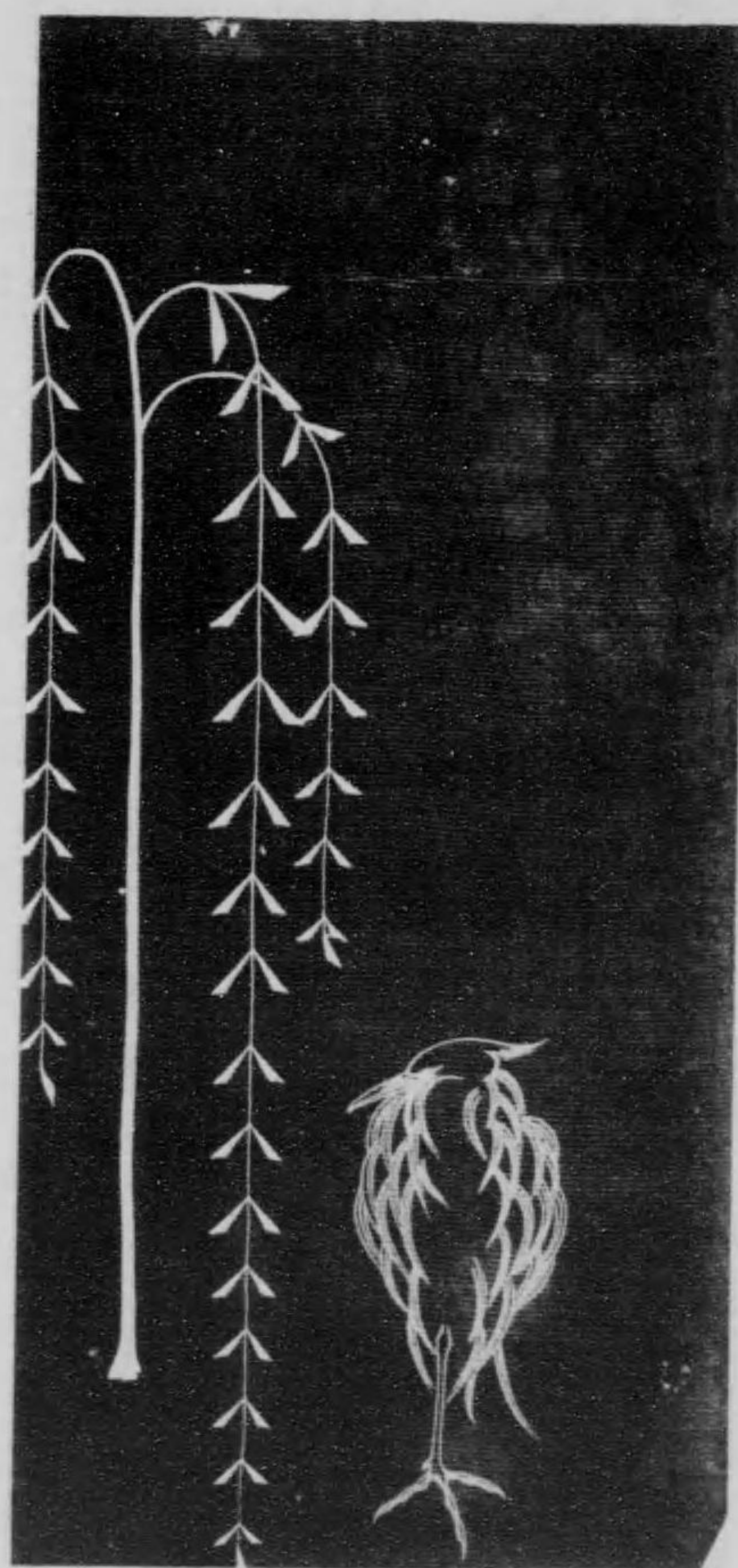
七十六



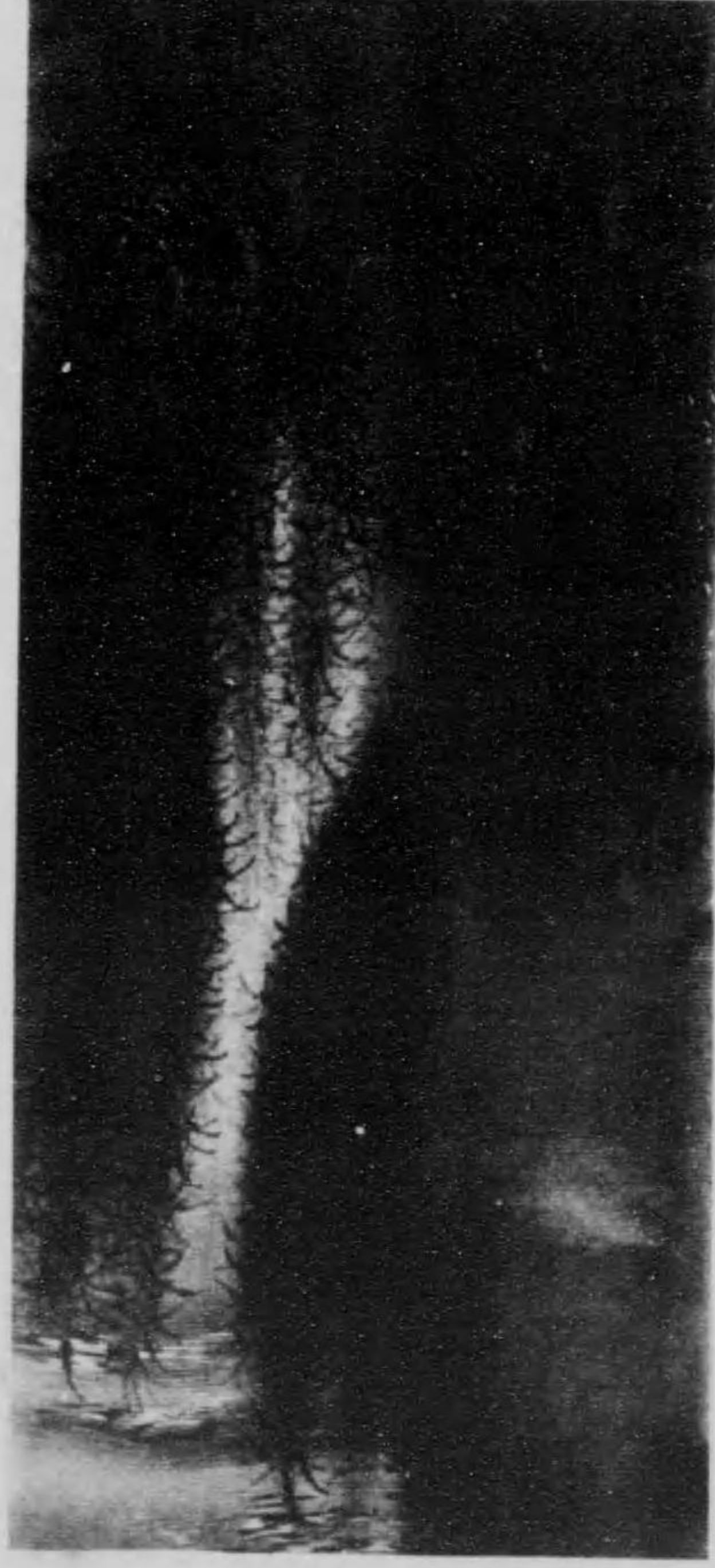
七十五



七十八



七十七



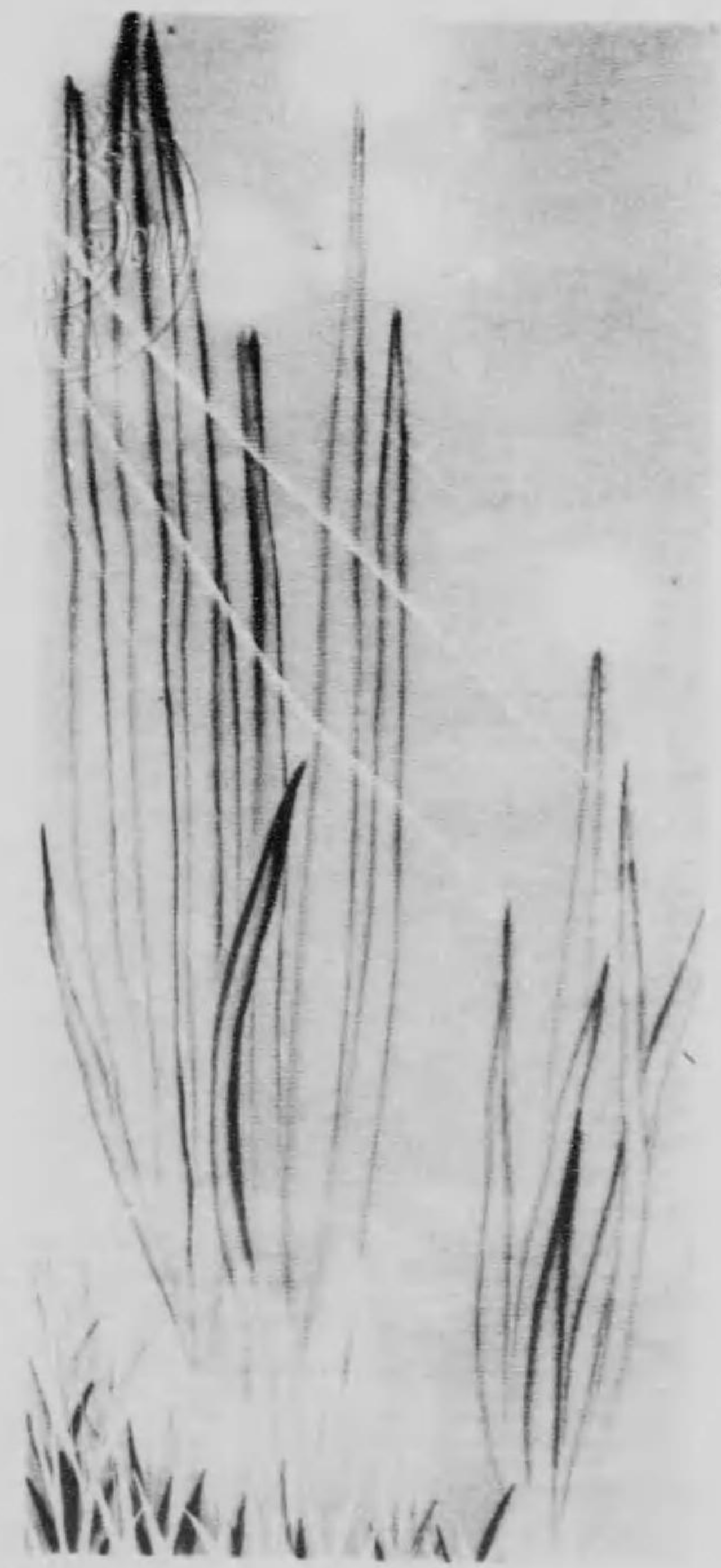
八十一



八十



七十九



八十四



八十三



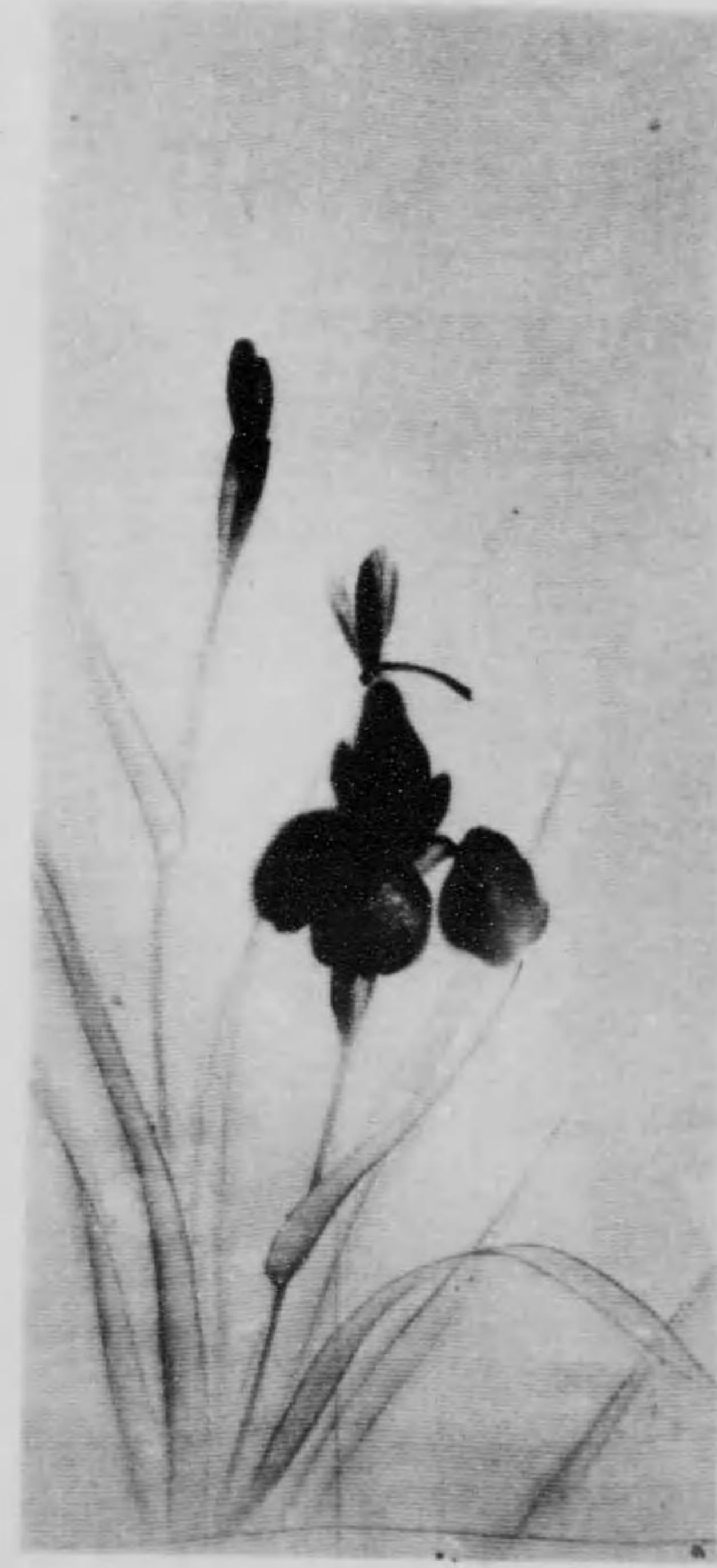
八十二



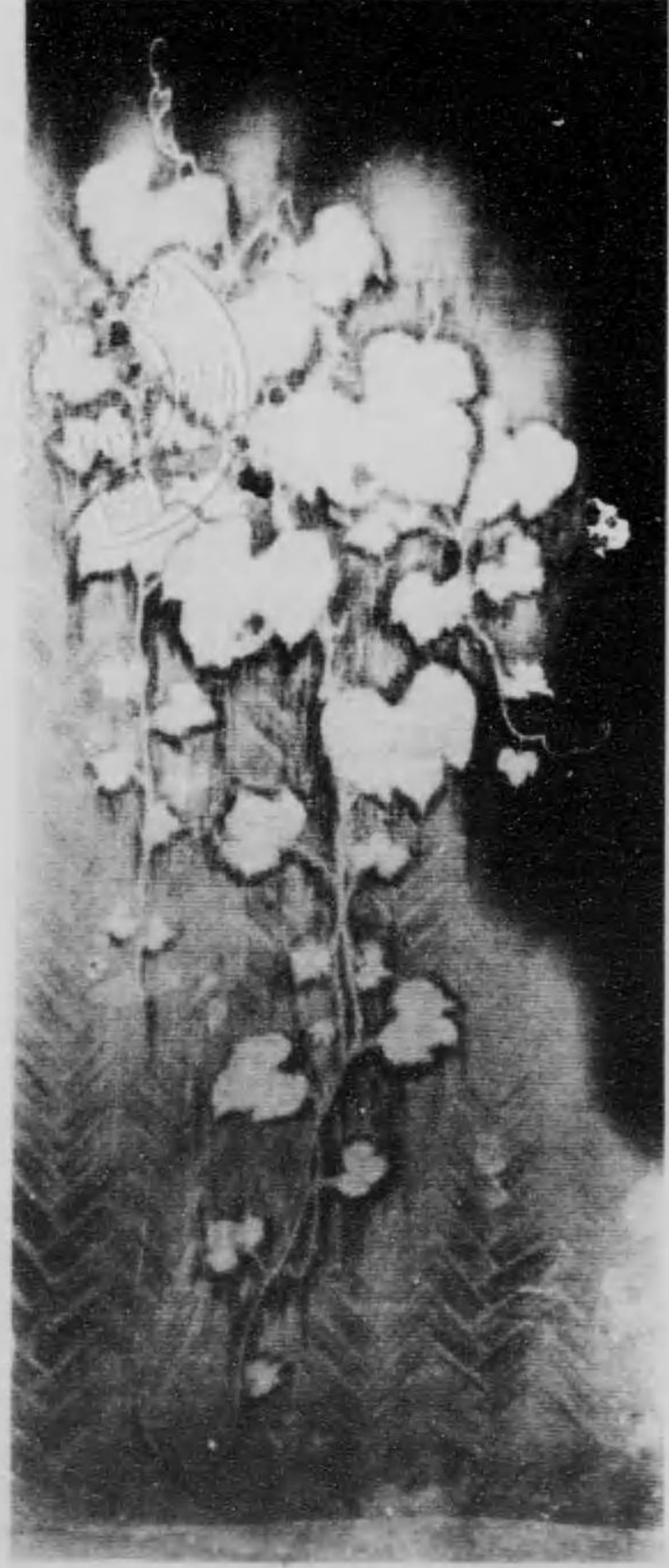
八十七



八十六



八十五



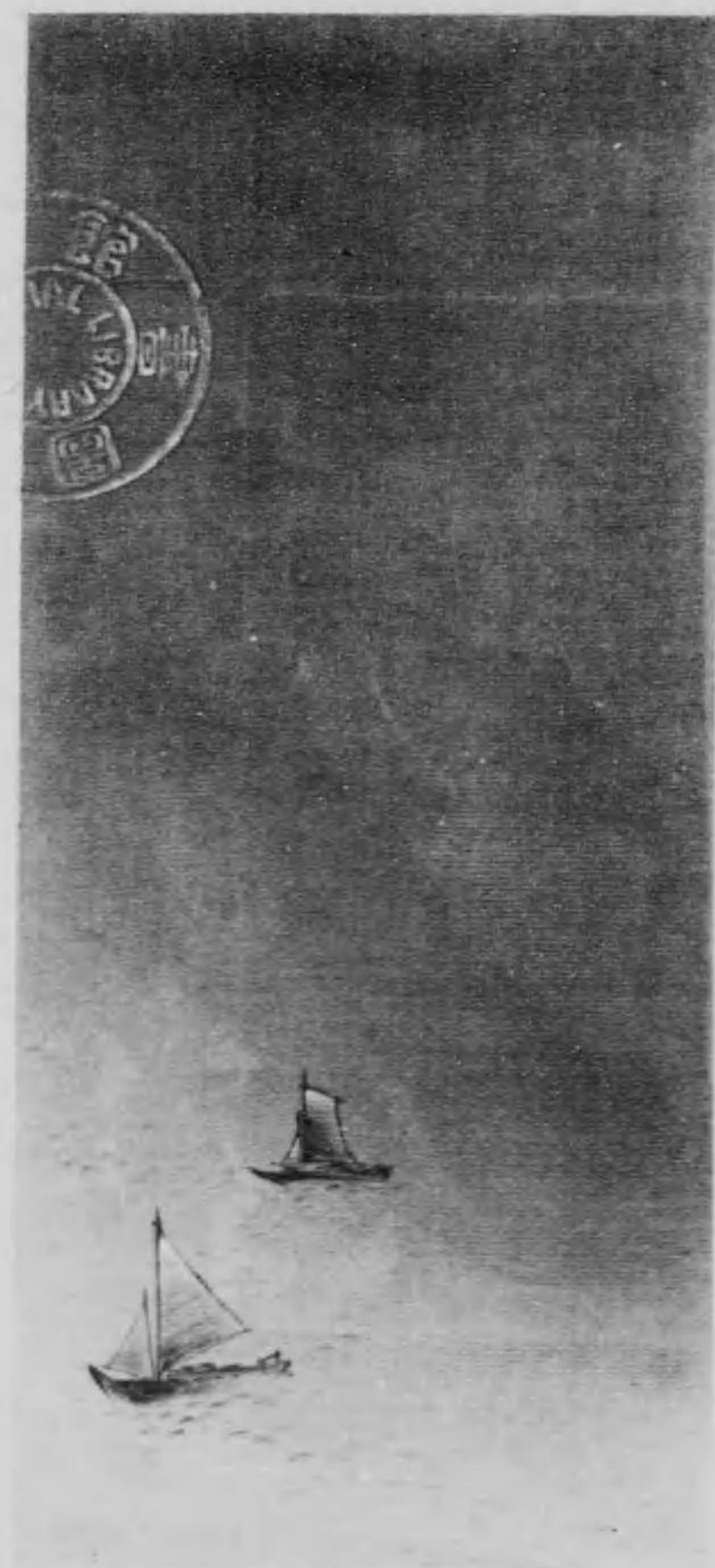
九十



八十九



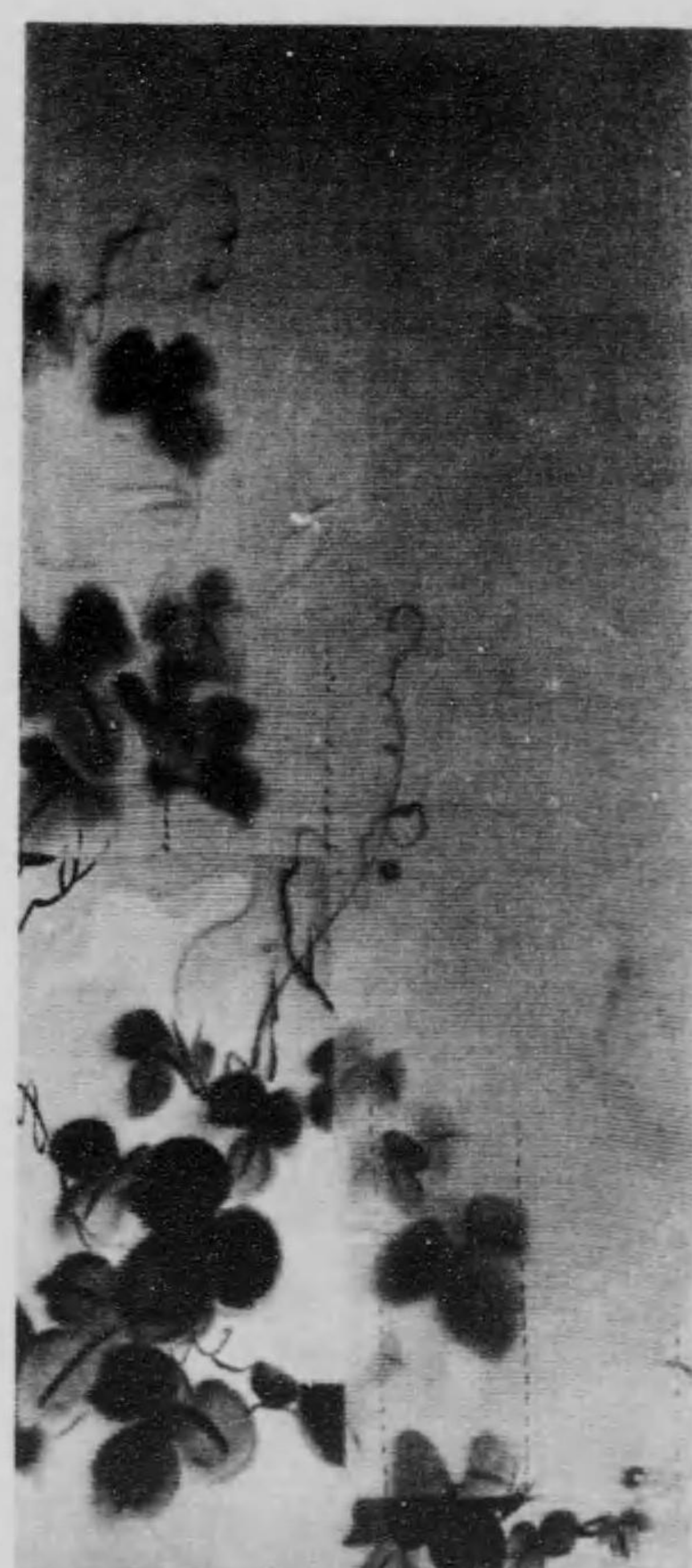
八十八



九十三

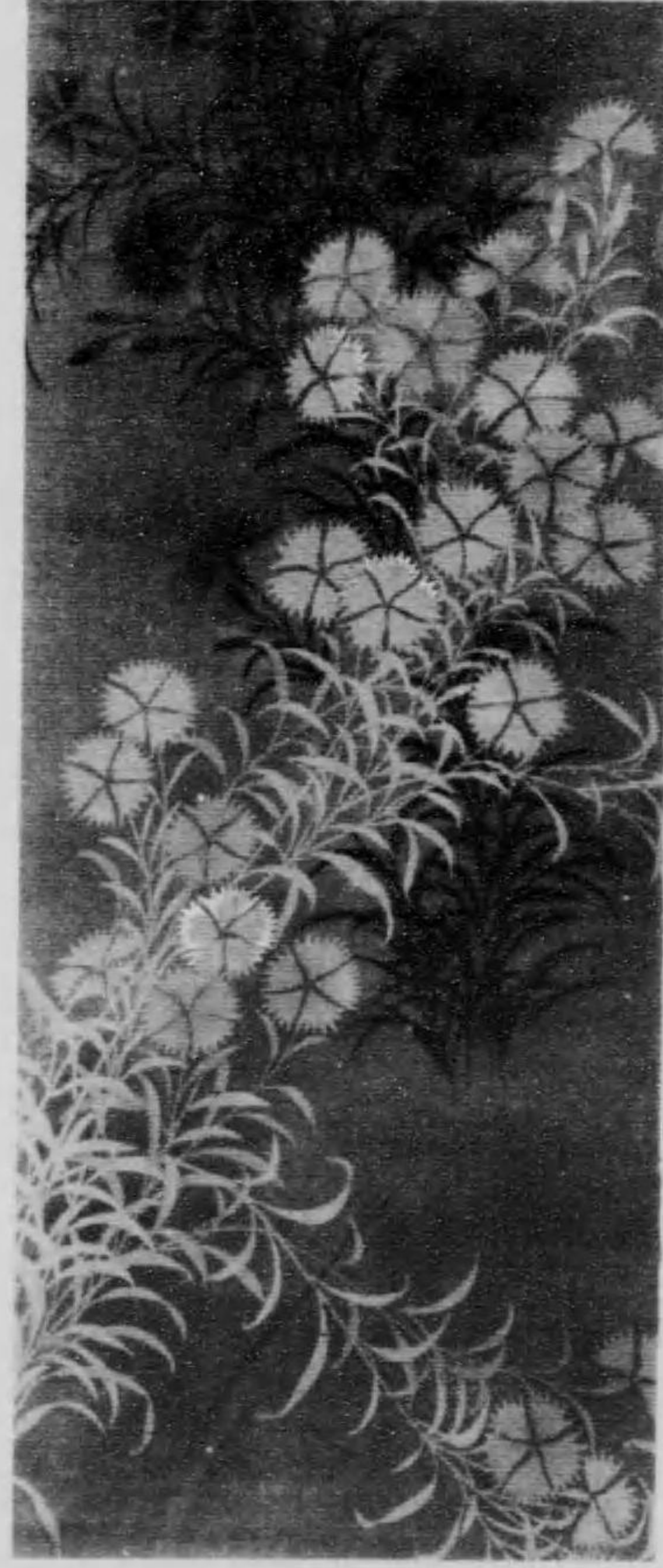


九十二

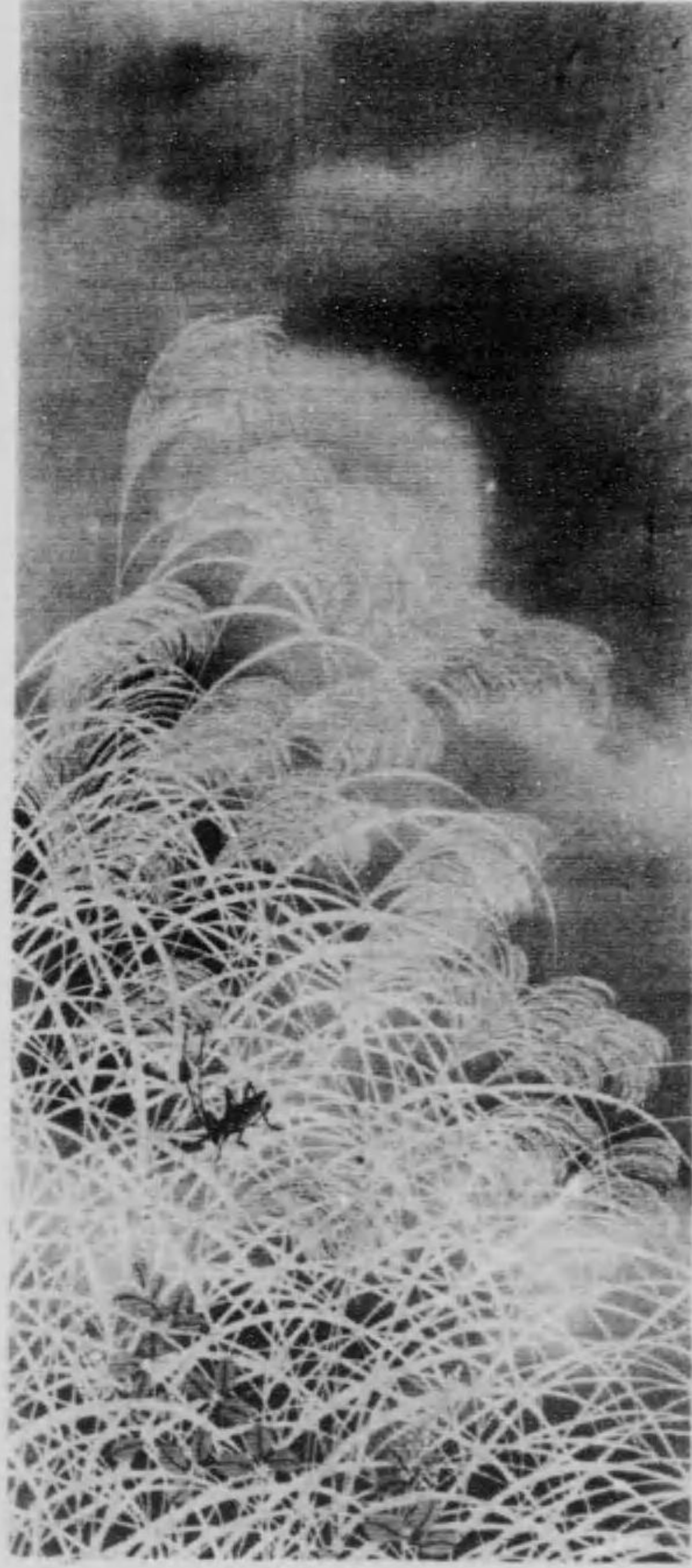


九十一

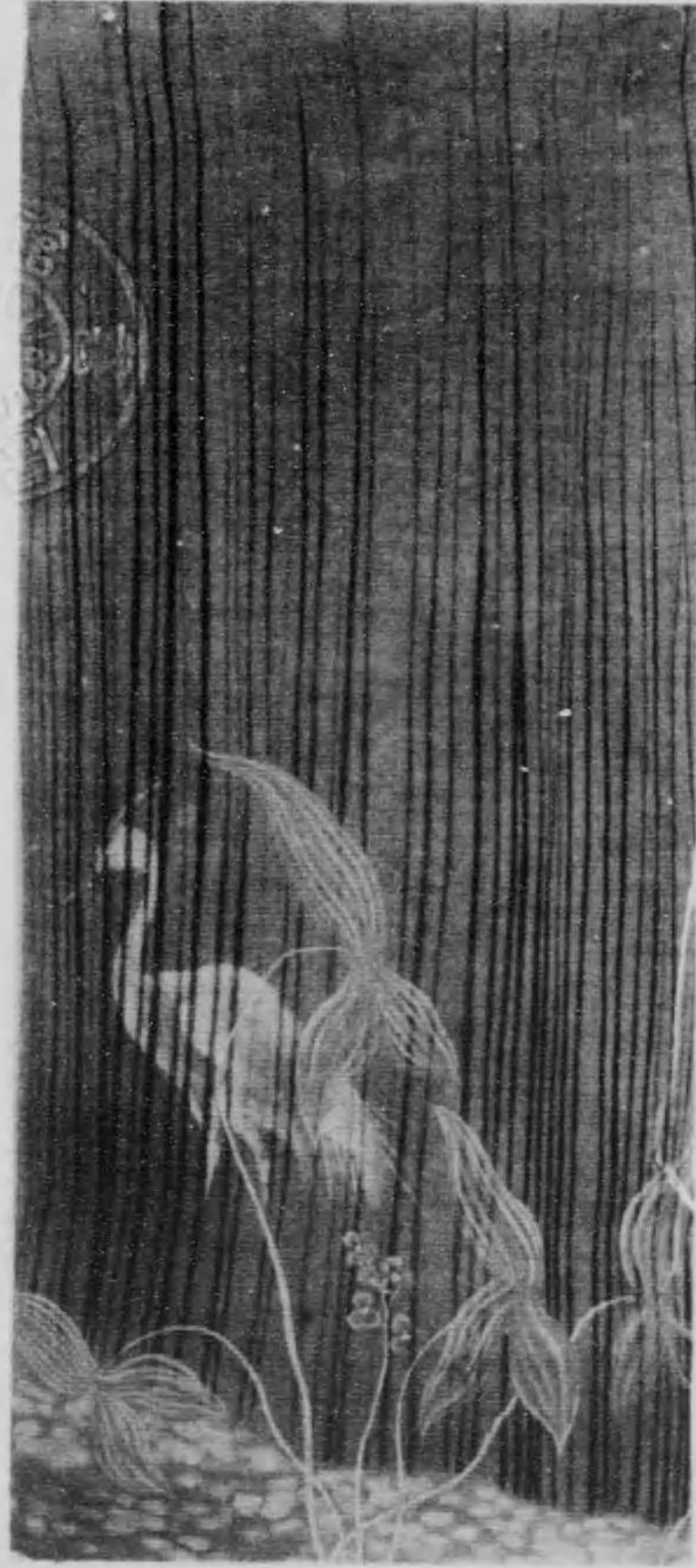
九十四



九十五

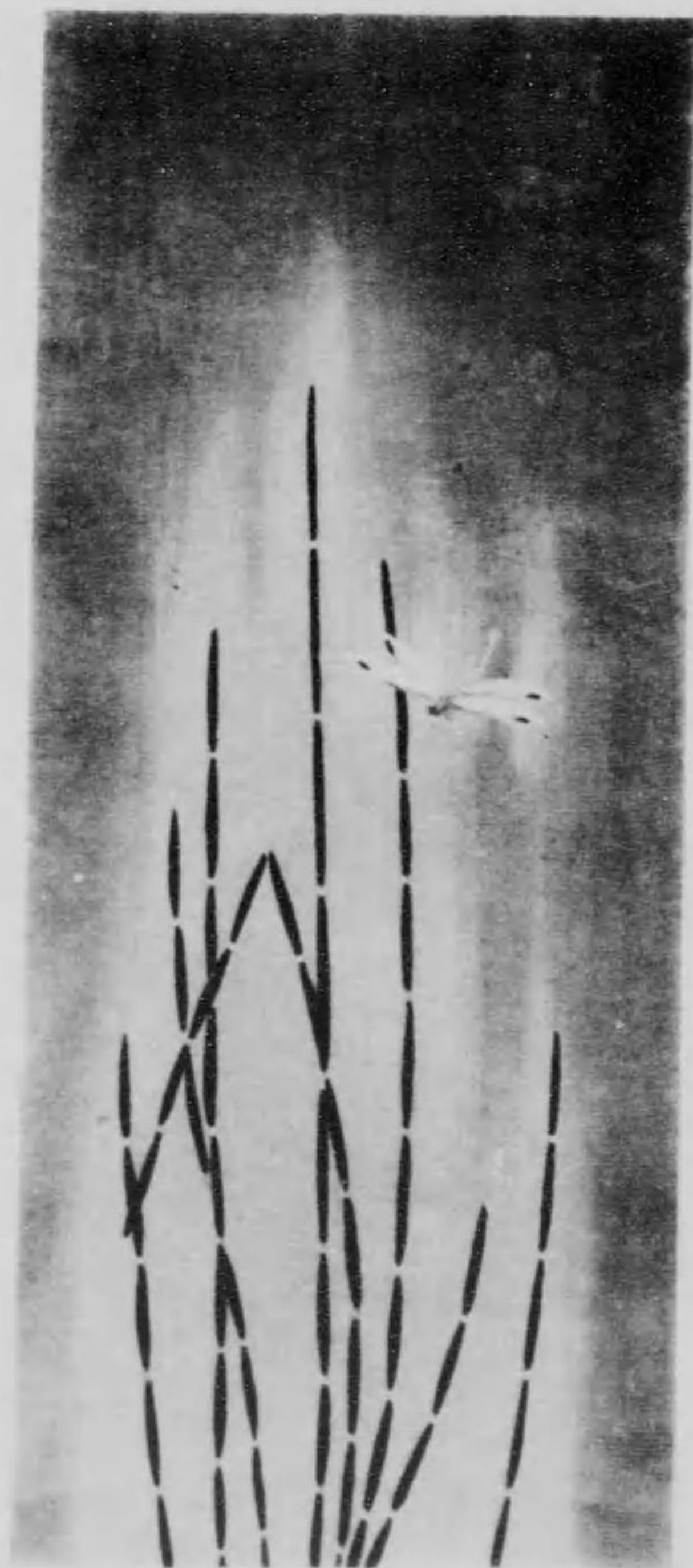


九十六

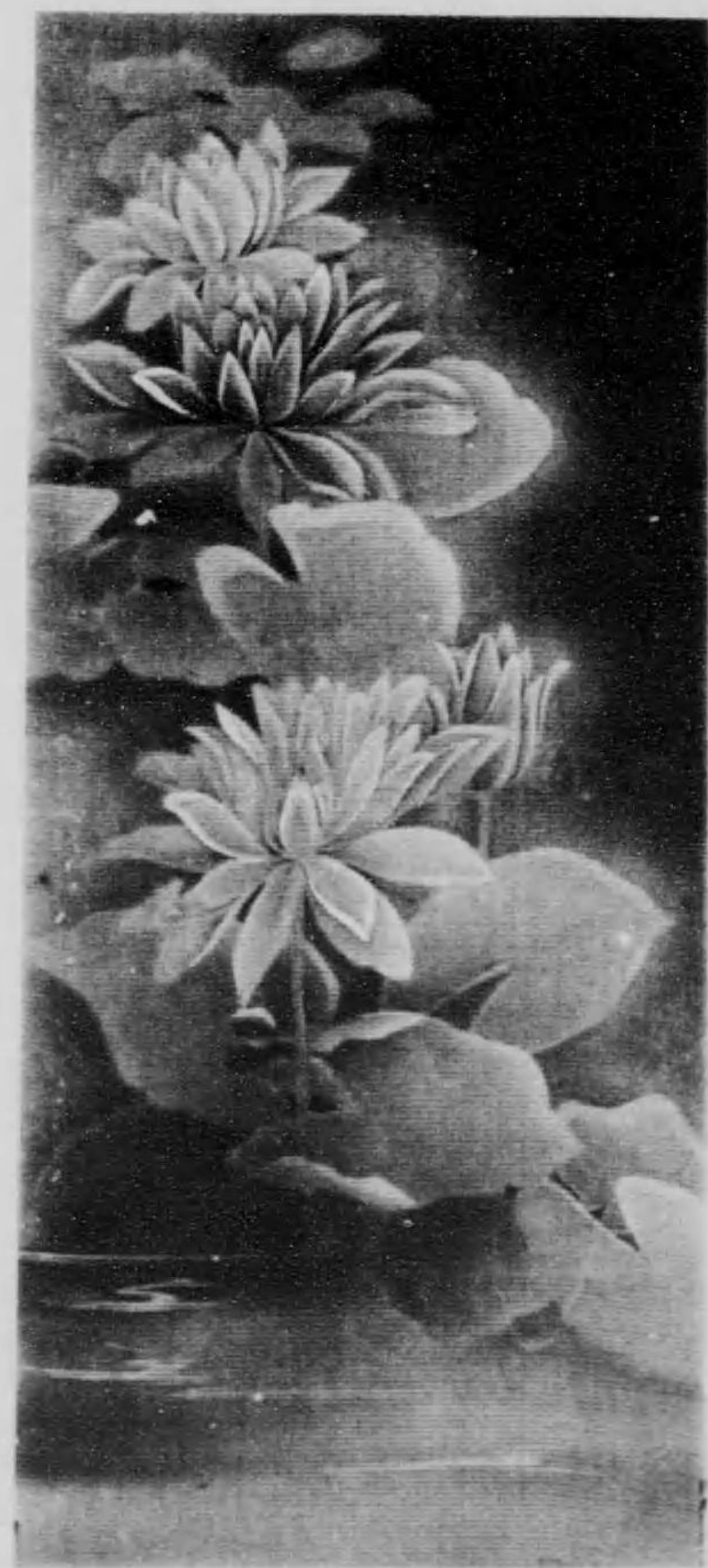




九十九



九十八



九十七



百二

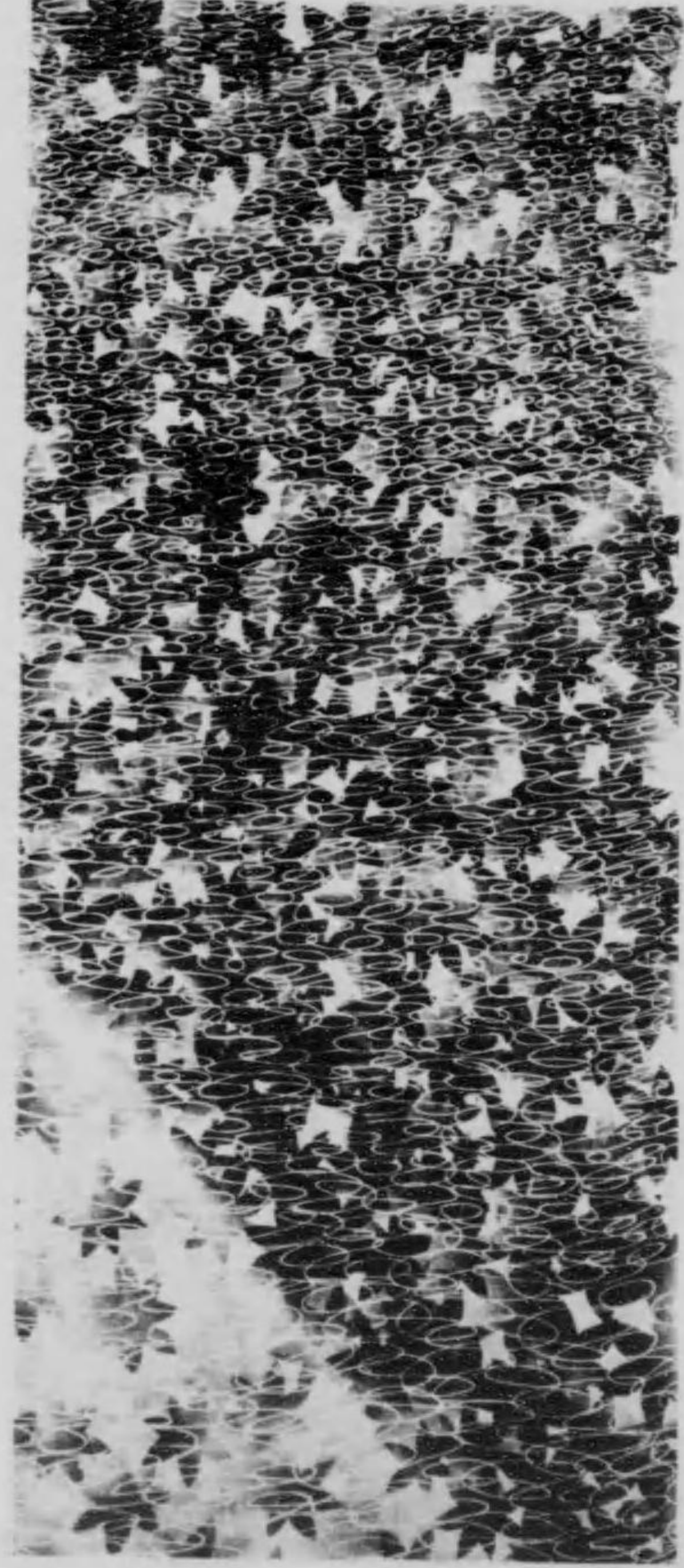


百一



百

百三



百四



百五



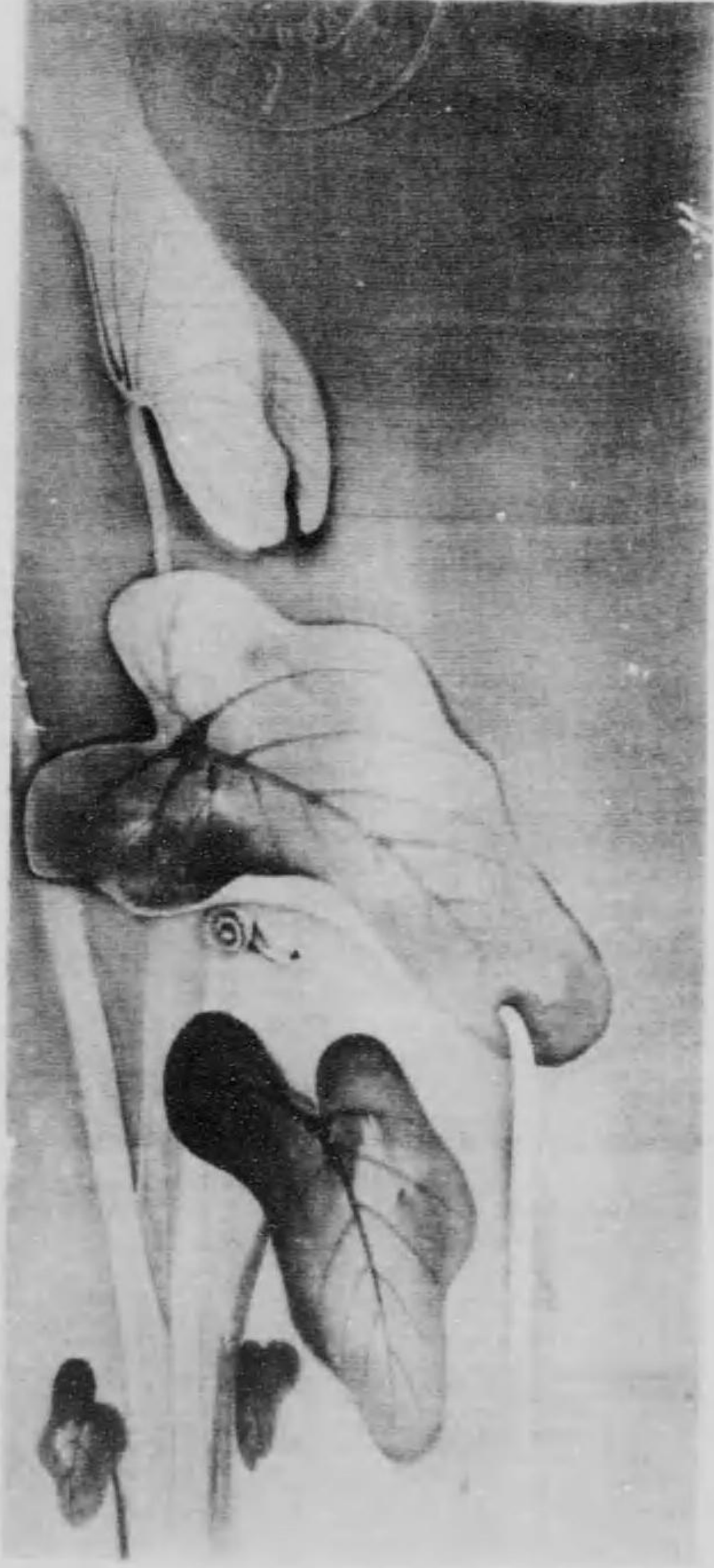
百六

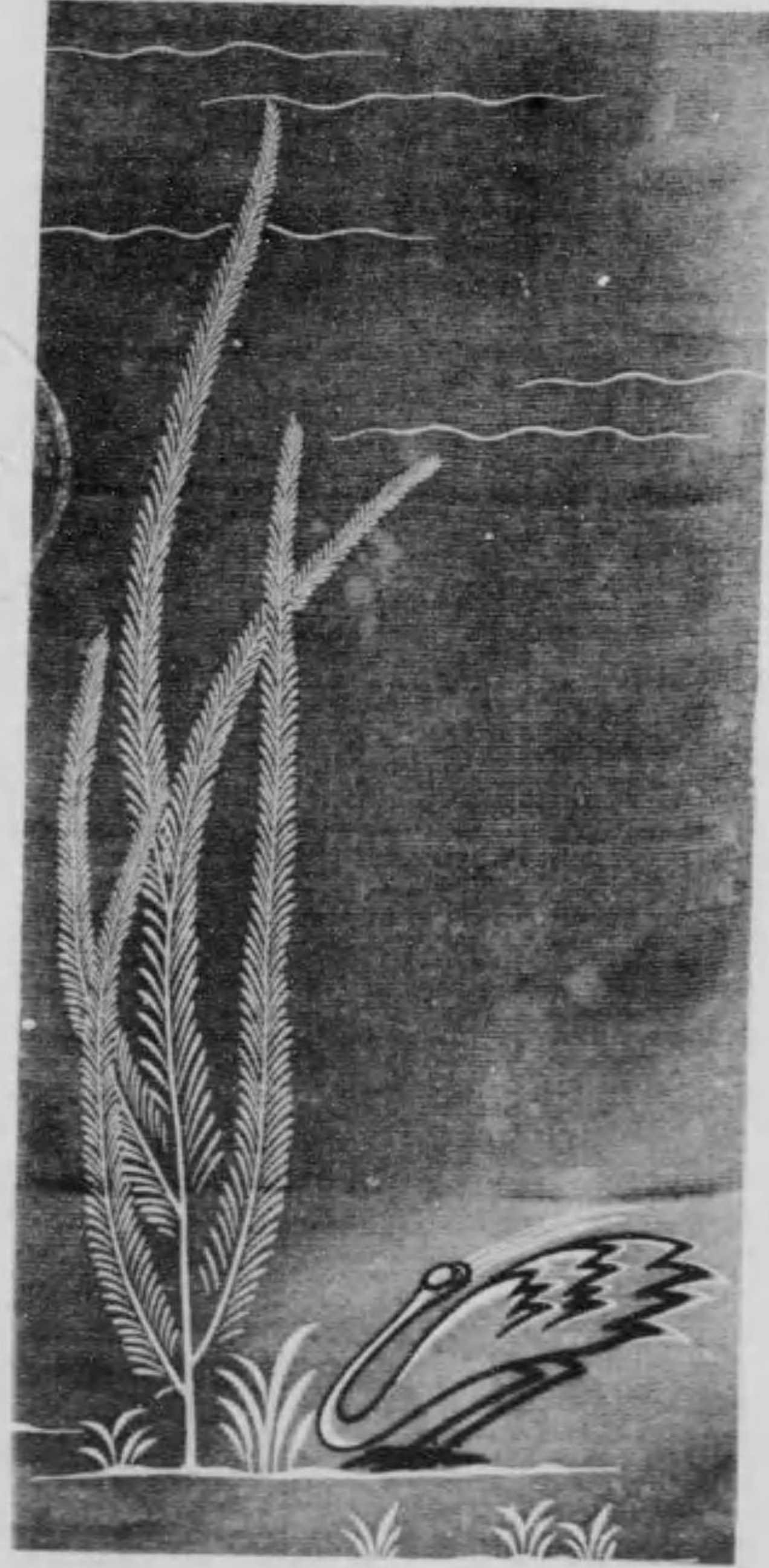


百七



百八

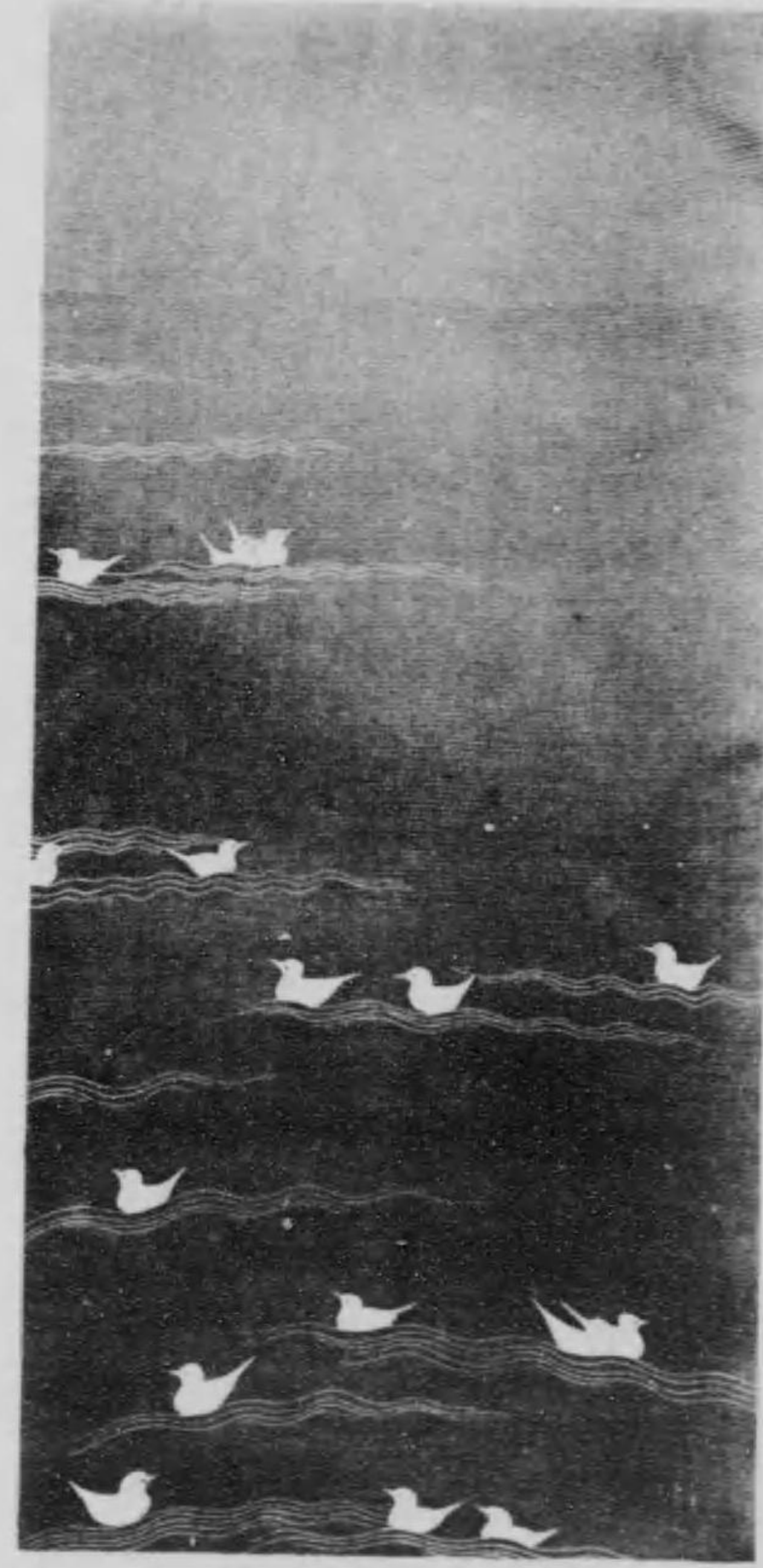




百
十
一



百
十



百
九



百十四



百十三



百十二

大正十二年八月五日印刷
大正十二年八月十日發行

不許
複製

發行所

同

高

染研會代表

小野村錄之助

本田金之助

編輯者
發行兼印刷者
京都市上京區寺町通二條南入拾九番戶

京都市寺町通二條南入

美術書肆 會社名 芸 艸 堂

東京市本郷區湯島一丁目一番地

美術書肆 會社名 芸 艸 堂 支店

電話 下谷三六〇〇番
振替口座東京四〇九四〇番

終